令和５年度 政策推進部の運営方針

部	政策推進部	部長	市川　信行
監	山口　伸和（総合政策監）	監	小林　聡（危機管理監）

【基本方針】

政策推進部は、市の政策をまとめ、実行するための施策に関する企画、関連部署間等の調整、市民への情報発信と広聴、職員の人事管理に加えて、防災対策などを所管しています。
今年度は、まちの将来像の実現や少子高齢化、人口減少といった課題に対して、にぎわいと活力ある市であり続けるための取組や公民連携による民間活力の活用、市内外に向けた積極的な情報発信を行うとともに、それらを担う職員の能力向上に向けた取組を進めます。
また、防災対策について、近隣諸国の情勢を踏まえ、国民保護措置が円滑に実施できるよう「柏原市国民保護計画」の改訂を行うとともに、災害等に備えた災害協力協定の締結や地域防災の要となる消防団の充実強化に向けた資機材を充実や消防団活動を担う人材確保に向けた取組を進めます。

【重点目標】

1	目標	（５）	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	市政運営	令和5年度達成状況
	シティプロモーションの強化のため広報かしわらや柏原市ウェブサイト、各種ＳＮＳなどを活用し、柏原市の魅力を市内外に発信					B
2	目標	（５）	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和5年度達成状況
	公民連携の拡充					A
3	目標	（５）	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和5年度達成状況
	職員の能力向上					B
4	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和5年度達成状況
	国民保護計画の改訂					B
5	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和5年度達成状況
	消防団を中核とした地域防災力の充実強化					A
6	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和5年度達成状況
	民間事業者等との災害応援体制の構築					B

【達成度について】
Ａ：達成（目標を達成することができた。100%）
Ｂ：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
Ｃ：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
Ｄ：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
Ｅ：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	政策推進部

重点目標　1	シティプロモーションの強化のため広報かしわらや柏原市ウェブサイト、各種ＳＮＳなどを活用し、柏原市の魅力を市内外に発信

今年度の達成目標	達成状況	達成度
市内外に柏原市の取組や魅力発信に向けて、広報かしわらや市ウェブサイト、各種ＳＮＳの発信力を強化します。	柏原市公式ＬＩＮＥをリニューアルしたことで、柏原市の情報を届ける手段が拡充し、より多くの市内外の方に市の施策や観光情報などを届けることができるようになりました。登録友だち数は3月時点で4,861人。リニューアル前の9月時点3,392人と比較して1,469人増加しました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
染色業を積極的に市内外に向けてＰＲを行い、シティプロモーションと伝統産業の活性化を図ります。	プロモーション活動を継続することで柏原市の知名度の向上に寄与しました。	B 概ね達成

具体的取組	具体的な取組実績
昨年度再開した柏原市公式ＬＩＮＥによる情報発信力を強化するため、関係部局との連携を今までよりさらに密にすることで、市政情報の種類や発信する頻度を増加させ、内容の充実を図ります。	柏原市公式ＬＩＮＥをリッチメニューや受信設定の追加を行うなど大幅にリニューアルし、イベントの告知や市政情報、市民のライフステージに応じたお知らせを発信するなど、これまでの広報誌やウェブサイトなどに加えて新しい情報発信の媒体として充実を図りました。また、登録者数を増やす目的で抽選でオリジナル手ぬぐいが当たるキャンペーンを実施しました。
所管室・課：秘書広報課	

具体的取組	具体的な取組実績
柏原市の伝統産業である染色業で用いられている注染と捺染の技法を用いて手拭いを作成し、各種行事参加者への配布と2025年大阪・関西万博に向けた国際会議で記念グッズとして配布することにより、世界に向けて柏原市をＰＲしていきます。	シティプロモーション用手ぬぐいを注染400枚、捺染100枚作成、また、2025年大阪・関西万博ノベルティ用手ぬぐいを注染960枚、捺染240枚作成し、プロモーション活動を各部局と協働で実施しました。
所管室・課：秘書広報課	

総合評価・総括	全体の達成度
柏原市公式ＬＩＮＥをリニューアルしたことで、市政情報を発信できる手段が増え、より多くの方に柏原市の魅力を発信できるようになり、シティプロモーションと市への愛着の醸成に役立ったと考えられます。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
市公式ＬＩＮＥの充実を図り、登録者数の増加を図るとともに、全ての市民がウェブサイトで提供される情報を活用できるようウェブアクセシビリティの向上を図ります。また、2025年大阪・関西万博に向け、国内外に柏原市の魅力を発信していきたいと考えています。

部	政策推進部

重点目標　2	公民連携の拡充

今年度の達成目標
民間事業者や大学との連携事業や民間活力による事業を増加させます。

達成状況	達成度
民間事業者との連携では多様な分野において事業を実施し、大学連携では事業展開についての意見交換を行う等、公民連携の拡充に向けた取組を進めることができました。	A 達成

具体的取組	
民間事業者との事業構築に向けた話し合いを持ちます。	
所管室・課	企画調整課

具体的な取組実績
㈱オトバンクと包括連携協定を締結し、関西福祉科学大学と産学官共同で健康づくり事業に取り組みました。また、㈱時空テクノロジーズと包括連携協定を締結し、市民サービスの更なる向上に向け、デジタル技術を活用した取り組みを開始する等、新たな事業構築を行いました。

具体的取組	
大学との連携事業に関する会議等を開催し、事業構築に繋げます。	
所管室・課	企画調整課

具体的な取組実績
大阪教育大学と年度内に１回、玉手山学園と年度内に２回、地域連携協議会をそれぞれ開催し、連携事業に関する取組事例等について情報を共有するなど、事業構築に向け研究を深めました。

総合評価・総括
民間事業者と包括連携協定を新たに２件締結し、市の課題解決に向け協働で事業に取り組むことができました。また、市内の大学と双方の取組や課題について共有し意見交換を行う等、連携事業の推進に資する取り組みを行うことができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
大学及び民間事業者との積極的な対話により、それぞれが持つ強みを活かし、既存事業の連携拡充や新たな事業展開について継続性を確保しながら進めることが重要と考えます。課題を明確化し、庁内各部局と横断的に連携し取り組んでまいります。

部	政策推進部

重点目標　3	職員の能力向上

今年度の達成目標

質の高い市民サービスを提供できるよう、職員一人ひとりの能力向上を図る研修を引き続き実施します。

達成状況

法律研修の実施により法律の知識を身につけるとともに、コンプライアンス意識の向上を図ることができました。また、階層別研修等を継続して実施し、職員の能力向上を図りました。

達成度

B

概ね達成

具体的取組

経験年数に応じた法律研修を実施し、法律に関する知識の習得とコンプライアンス意識の更なる向上を目指します。

所管室・課	人事課

具体的な取組実績

勤続年数に応じた法律研修を初級・中級・上級の計３回実施しました。

総合評価・総括

市政運営にあたって必要な知識の取得やスキルの向上に資する研修を実施することができました。

全体の達成度

B

概ね達成

今後検討すべきこと

経験年数に応じた法律研修については、公務員として基本的な知識を習得でき、コンプライアンス意識の向上を図ることができるため、今後も継続して実施できるよう改善を重ねていきます。また、引き続き、時勢に応じた研修テーマを検討していきます。

部	政策推進部

重点目標　4	国民保護計画の改訂

今年度の達成目標
武力攻撃事態など有事の際に、市が行うべき国民保護措置が円滑に実施できるよう国民保護計画の改訂を行い、災害対応力の向上を図ります。

→

達成状況	達成度
国、大阪府の上位計画との整合性を図り、また、柏原市地域防災計画にも即した柏原市国民保護計画の改訂を行いました。	A 達成

↓

具体的取組	
国が定める国民の保護に関する基本方針に基づき、国民保護計画の改訂を行うとともに、想定される不測の事態に対して、具体的な避難の実施手順を作成します。	
所管室・課	危機管理課

→

具体的な取組実績
消防、警察と具体的な国民保護事案を想定し、避難方法等について協議を行うとともに、鉄道事業者と帰宅困難者対応についての検討も行いました。

↑

総合評価・総括	全体の達成度
国民保護計画の策定は、緊急事態発生時における初動対応の手順や役割分担が明確になります。今後は更にリスク評価を通じて予防対策や緊急対応の優先順位を明確にするなど適切な対応を講じる必要性があると考えます。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
住民が迅速に的確に避難行動がとれるよう、確実な情報伝達や意識啓発の在り方について検討します。

部	政策推進部

重点目標　5	消防団を中核とした地域防災力の充実強化

今年度の達成目標	達成状況	達成度
火災や大規模災害を想定した訓練の実施や、資機材・装備品を充実させることで、消防団の災害対応力を強化し、重点目標である「安全で安心して健やかに暮らせるまち」を目指します。	災害発生時に迅速かつ的確な対応が取れるよう、年間を通して教育訓練に取り組むとともに夏季に集中して消防操法訓練を実施し、団員同士の連携、組織力強化を図ることが出来ました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
消防団と地域が連携した取組を進めることにより、地域防災力全体の向上を図ります。	自主防災訓練で消防団員が指導的役割を担うことで、地域コミュニティの強化が図られるとともに住民の防災意識と対応力が向上しました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
小型動力ポンプ搬送車の更新及び消防用ホースなど資機材の更新を行うことで、災害即応体制を維持するとともに、夏期期間中は消防ポンプ自動車を用いた消防操法訓練に集中して取り組み、消火技術の向上を図ります。	第３分団所属の小型動力ポンプ搬送車の更新時には機動力向上に向け積載資機材の充実を同時に実現しました。また、第２分団においては、40回にわたる消防操法訓練を実施、技能錬磨に取り組み、災害即応体制を維持しました。
所管室・課：危機管理課	

具体的取組	具体的な取組実績
地域の自主防災訓練に参加し、応急手当や消火器の取扱いなど災害対応技術の指導を行うほか、春期、秋期、年末には、各地域へ巡回広報により火災予防に係る啓発を行い、地域との連携を強化します。	自主防災訓練の場面においては、女性消防団員による技術指導を積極的に取り入れ、火災予防啓発と共に地域との連携に努めました。
所管室・課：危機管理課	

総合評価・総括	全体の達成度
消防団と地域との連携は、防災力の向上、迅速な災害対応、地域コミュニティの強化など多岐にわたる効果をもたらすことから、今後も継続して消防団組織の充実を図るとともに地域と協働した取組機会を創出します。	A 達成

今後検討すべきこと
消防団員の人員確保に向け、参加を促すための広報活動や勧誘活動を強化します。

部	政策推進部

重点目標　6	民間事業者等との災害応援体制の構築

今年度の達成目標

関係団体との間で災害応援体制を構築することにより、市が被災した場合においても迅速かつ円滑に復旧できるよう、その準備を進めます。

達成状況

民間事業者との協定に加えて、地域住民との連携強化に向け、避難行動の迅速化を図るためのコミュニティタイムラインを自主防災組織と共に作成する取組も実施することができました。

達成度

B

概ね達成

具体的取組

民間事業者や他自治体との間で災害応援協定を締結することにより、平時から応援体制の構築を進めます。（５件／年）

所管室・課	危機管理課

具体的な取組実績

民間事業者との間で大規模災害を想定し、避難所等で必要となる救助物資の調達や物流関係における協定（全３件）の締結を行いました。

総合評価・総括

大規模災害時には、協定に基づく事前の準備や計画があることで迅速な物資調達が可能となり、また、コストの削減や早期の復興にも大いに寄与するものと考えていますので、今後も円滑で的確な被災者支援に向け民間事業者との協定締結をはじめ関係機関との連携強化を図って参ります。

全体の達成度

B

概ね達成

今後検討すべきこと

災害時に必要となる物資やサービスを具体的にリストアップするなど、幅広くニーズ把握を行います。

令和５年度 総務部の運営方針

部	総務部	部長	安田　善昭
理事（監）	西戸　浩詞　（デジタル監）	理事（監）	松井　俊之（公有財産マネジメント担当）

【基本方針】

これからの柏原市の人口、財政規模等を総合的に考慮し、適正な財産の総量維持に努めてまいります。
また、アフターコロナにおける社会変化への対応により、ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の活用がこれまで以上に必要とされることから、市民がデジタルの恩恵を受け入れられるような取組みについて、引き続き推進してまいります。
さらに、用務等で来庁される方々の庁舎で過ごす時間を快適なものとしていただけるよう、飲食に関する利便性の向上を図る取組を行ってまいります。

【重点目標】

1	目標	（５）	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和5年度達成状況
	公共施設等の最適化及び公有財産の有効活用を図る。					A
2	目標	（５）	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和5年度達成状況
	市民の利便性の向上や業務の効率性・生産性を高めるための自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組の推進					A
3	目標	（５）	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和5年度達成状況
	庁舎の有効活用の推進					B

【達成度について】
Ａ：達成（目標を達成することができた。100%）
Ｂ：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
Ｃ：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
Ｄ：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
Ｅ：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	総務部

重点目標　1	公共施設等の最適化及び公有財産の有効活用を図る。

今年度の達成目標	達成状況	達成度
公共施設等の最適化を図るための再編整備計画を策定し、その計画に基づき、公共施設等の再編に取り組みます。	令和５年１０月に再編整備計画を策定し、その計画に基づき、（仮称）市民交流センターの設計業務委託契約を締結しました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
公用廃止された施設等のうち、有効活用が期待できないものについて、売り払うための準備に取り組みます。	旧堅下南小学校高井田分校を建物付き一般競争入札に付し、売り払いました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
再編整備計画を策定し、再編にかかる施設改修の設計等に取り組みます。	再編整備計画（素案）に対する市民意見を聴取し、成案化を検討しました。また、施設改修の設計業務の入札方法等について関係部署と種々協議を行いました。
所管室・課：公有財産マネジメント課	

具体的取組	具体的な取組実績
売払いを予定している公有財産の境界確定、測量等を行います。	売払い物件の一般競争入札の方法を調査研究し、売払いを実施しました。
所管室・課：公有財産マネジメント課	

総合評価・総括	全体の達成度
・再編整備計画に基づき、令和５年度中に（仮称）市民交流センターの設計業務委託契約を締結できたことは、計画どおりの業務遂行ができていると考えられます。 ・公有財産の売払いについては、市において建物を解体せずに一般競争入札に付したことにより、業務の効率化や、歳出の抑制に貢献できたものだと考えられます。	A 達成

今後検討すべきこと
公有財産の売払いについては、今後も引き続きより効果的な入札方法等を検討していきます。

部	総務部

重点目標　2	市民の利便性の向上や業務の効率性・生産性を高めるための自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組の推進

今年度の達成目標

国が進める自治体情報システムの標準化・共通化の対象となる業務システムに関する標準化準拠システムへの移行について、期限となる令和７年度末までに遅滞なく行うための準備を進めます。

達成状況

今年度に予定をしていた業務については、全て予定どおり進めることができ、翌年度以降の移行準備に繋げることができました。

達成度

A

達成

今年度の達成目標

様々なデジタル技術を行政事務に積極的に活用して、業務の効率化・省力化を図り、市民の利便性の向上に取り組みます。

達成状況

次年度に申請書作成支援システム、いわゆる「書かない窓口」を実現できるシステムを一部の窓口に導入する予定で、また生成ＡＩ技術を利用した会議録生成支援システムも導入予定など、新たなデジタル技術を事務の効率化・省力化に繋げることができました。

達成度

A

達成

具体的取組

標準化準拠システムへの移行の準備として、現在本市が運用している基幹系システムと国が示している標準化準拠システムの機能の違いを比較・整理をして、国基準に適合できるものと乖離しているものなどを洗い出し、分析を行います。

所管室・課	デジタル推進課

具体的な取組実績

現行システムと標準化準拠システムとの機能の違いの比較分析について、各システムベンダーとの打ち合わせや検討などを各システム担当課とともに約４０回以上実施し、同様のシステムを利用している他の自治体とも情報交換をするなど、調整を重ねてまいりました。

具体的取組

市民が来庁しなくてもインターネットなどを使って出来る手続きを増やしてまいります。また、業務の効率化・省力化、さらには市民サービスの向上につながるＡＩやＲＰＡ等の新技術の導入に向けた情報収集や検討を行います。

所管室・課	デジタル推進課

具体的な取組実績

マイナンバーカードや運転免許証等の電子証明書を利用してあらかじめ必要事項を印字した申請書を作成することができるシステムのデモを窓口担当向けに数回実施するなど、新技術の導入に向けた研究・検討を行いました。

総合評価・総括

今年度はアフターコロナの対応として、オンラインを取り入れた新しい生活様式が、より一層人々の間に広まってきました。
そのような中で、窓口の申請書作成支援システムや新技術の導入に向けた研究・検討などが出来たことは、今後のデジタルを活用した市民利便性の向上や事務の効率化・省力化につながる第一歩であり、次年度以降の自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進にもつながるものと考えております。

全体の達成度

A

達成

今後検討すべきこと

今後もＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の活用が益々必要とされると思われることから、「行かない、待たない、書かない」市役所を目指し、市民サービスの向上に加え、たくさんの方がデジタルの恩恵を受けることができるように、業務の生産性・効率性を高める取組を引き続き進めてまいります。

部	総務部

重点目標　3	庁舎の有効活用の推進

今年度の達成目標
庁舎及び庁舎敷地の有効活用により、飲食に関する来庁者や職員の利便性向上を目指します。

→

達成状況	達成度
取組を通して、庁舎利用者の利便性の向上に寄与することができました。	B 概ね達成

↓

具体的取組
庁舎敷地内での食事提供の実現に向けてキッチンカー等の移動販売の出店を募ります。
所管室・課：総務課

→

具体的な取組実績
令和５年５月より、庁舎北側駐車場の一部でのキッチンカー等の移動販売の出店許可について開始しました。

具体的取組
キッチンカー等移動販売による食事提供の開始に合わせて、飲食スペースの確保に努めます。
所管室・課：総務課

→

具体的な取組実績
キッチンカーの出店に合わせて、本庁１階フリースペースにテーブル・イスを配置し、飲食可能な休憩スペースを確保しました。

総合評価・総括
庁舎北側駐車場の一部でのキッチンカー等の移動販売の出店許可を開始し、本年度において、実出店２６件・延べ出店３７３件の出店があり、また庁舎１階フリースペースを活用した飲食可能スペースの確保によって、来庁者及び職員の飲食に関する利便性の向上を図ることができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
今後もこの取組を継続できるよう、キッチンカー等の移動販売車両同士の間隔確保や車両の自然発車を防ぐ輪留めの設置等の安全対策について、出店者の協力を得ながら更に講じてまいります。

令和５年度 財務部の運営方針

部	財務部	部長	石橋敬三

【基本方針】

財務部では、各部の施策を着実に実行していくため、重要な財源となる市税の確保に努めるとともに、将来にわたる健全で安定した財政運営を行うため、次の目標に取り組みます。

① 適正な予算配分について精査・検討するとともに、将来の公債費負担の軽減に努めます。
② 市税の公平で適正な課税と徴収率の向上に努めます。
③ 契約の公正性、透明性の向上に努めながら、競争性の確保を図ります。

【重点目標】

1	目標	（５）	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和5年度達成状況
	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立					D
2	目標	（５）	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和5年度達成状況
	市税の公平で適正な課税及び徴収					C
3	目標	（５）	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和5年度達成状況
	適正な入札及び契約の執行					B

【達成度について】
Ａ：達成（目標を達成することができた。100%）
Ｂ：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
Ｃ：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
Ｄ：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
Ｅ：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	財務部

重点目標　1	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立

今年度の達成目標	達成状況	達成度
令和４年度決算における予算執行率の検証結果を活かした予算編成を行います。	令和６年度の予算要求額について、既存事業では経常費用の削減を行いましたが、人事院勧告の影響などによる人件費や社会保障費といった義務的経費の増などにより、財政調整基金繰入金は前年度から４億円増加しました。	D 未達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
公共施設の統廃合や設備の更新に係る投資的経費（建設事業に係る経費）について、今後の増加が見込まれる費用の平準化を図ります。	令和６年度当初予算においては、老朽化施設の改修費用の抑制は行ったものの、新たに避難所の環境改善に係る空調設置費等を計上したため、投資的事業費全体は約６億円の増、また地方債発行予定額は２億円増の約１１億円となりました。	D 未達成

具体的取組	具体的な取組実績
各事業ごとに予算執行率を検証し、適正な予算配分となるよう精査を行うとともに、臨時的な経費を除いた歳出の縮小を図ります。	令和６年度予算の編成にあたり、令和４年度の決算や令和５年度予算の執行状況等を踏まえて、経常経費についてはシーリングを実施するとともに、各部局からの予算要求ヒアリングにおいて事業費精査を行いました
所管室・課：財政課	

具体的取組	具体的な取組実績
投資的経費に伴う財源として起債の発行をする際は、交付税に算入される優良な起債の選定を行うとともに、公債費の管理計画を見直します。	令和６年度実施計画における各課からの投資的事業の要求に際し、交付税算入のある起債の選定を行うなど、一般財源ベースでの事業費の平準化に取り組みました。また、実施計画の結果を反映した地方債償還シミュレーションの更新を行いました。
所管室・課：財政課	

総合評価・総括	全体の達成度
令和６年度当初予算は、前年度に比べて約１３億８，０００万円の増加となりました。これは、歳出面で、人事院勧告の影響等による人件費増や社会保障費の増に加え、病院事業の支援として出資金を新たに計上したことなどが主な要因です。これに伴い、歳入では、財源不足を補填する財政調整基金からの繰入金も、前年度に比べて４億円増加しました。こうしたことから、持続可能な行財政運営に向けた取組としては、厳しい課題が残る結果となりました。	D 未達成

今後検討すべきこと
少子高齢化が進む中、中長期的には生産人口の減少によって歳入は減少する一方、歳出では人件費や社会保障費などの費用が、今後も増加していく見込みです。さらに、老朽化した公共施設の改修等の費用やこれに伴い発行する市債の償還費用も必要となります。そのため、徹底した歳出の削減を行うとともに、新たな歳入の確保を図る必要があります。

部	財務部

重点目標　2	市税の公平で適正な課税及び徴収

今年度の達成目標	達成状況	達成度
課税調査により課税客体を的確に把握し、公平で適正な課税及び徴収に努めます。	取組の結果、特別徴収分個人市民税1,363,900円、法人市民税1,337,600円、償却資産課税分固定資産税14,194,700円、合計16,896,200円を新たに課税することができました。	B 概ね達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
徴収率の向上を目指し、具体的には、令和４年度の徴収率を上回ることを目標とします。	令和６年３月末時点の市税徴収率は、95.2%でした。令和５年度３月末時点の市税徴収率が96.0%であったことから、0.8%の減少となりました。	D 未達成

具体的取組	具体的な取組実績
未申告者に対する調査や申告催告、課税資料未提出事業所に対する提出催告、課税対象となる固定資産に関する現地訪問調査などを実施します。	給与支払報告書未提出事業所への提出催告（38件）、法人市民税未申告法人等への課税調査（93件）、償却資産未申告事業所への課税調査等（53件）を実施しました。
所管室・課：課税課	

具体的取組	具体的な取組実績
滞納解消に向け、早期の納税相談及び交渉を行うとともに、相談・交渉等に応じない事案については、差押や公売等の厳正な滞納整理を推進します。	滞納となった場合、督促状・催告書を送付し、納税相談にて納付勧奨を行いました。自主納付していただけない場合は、徹底した財産調査を行ったうえで、滞納処分し、滞納額の縮減を図りました。
所管室・課：納税課	

総合評価・総括	全体の達成度
適正な課税については、従来から取り組んできた申告の催告や課税調査等に加え、事業所の設備の運用に係る事業認定を担う公の機関への調査により、未申告の固定資産を把握することができたことから、適正化に向けた取組が進捗したものと考えています。また、徴収率の向上に関しては、未納者に督促状を発送し自主納付を促すとともに、滞納者に対しては厳正に滞納処分を進めました。 今後、出納閉鎖まで、徴収率向上に向け、引き続き取組を進めてまいります。	C 一部達成

今後検討すべきこと
令和６年度に実施される定額減税をはじめ税制度に関して、市民の皆様にわかりやすく説明し、積極的に発信するなど、市税への理解を深めていく取組を検討いたします。 また、税負担公平性の観点から、滞納事案の早期解消を図るため、差押、公売等の滞納整理の取組を進めます。

部	財務部

重点目標　3	適正な入札及び契約の執行

今年度の達成目標	達成状況	達成度
契約事務における透明性、公正性、競争性を確保します。	入札等監視委員会における審議の結果、意見の具申や勧告等がなかったことから、適正な入札、契約が行われていることが確認されました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
入札参加者の負担を軽減し、より参加しやすい制度を確立します。	入札案件181件（不調・中止案件含む）のうち、入札参加者数が規定数を満たさず中止した案件は、20件（11%）でした。	B 概ね達成

具体的取組	具体的な取組実績
入札及び契約内容を外部有識者で構成する入札等監視委員会を開催し、審議します。	委員会は予定どおり３回開催し、７月に前年度下半期の建設工事と物品の購入、11月に前年度の業務委託、２月には今年度上半期の建設工事と物品の購入と、それぞれの入札案件及び対象となる随意契約について、審議いただきました。
所管室・課：契約検査課	

具体的取組	具体的な取組実績
入札室で執行していた入札を来庁不要な電子入札や郵便入札に段階的に移行します。	入札案件181件（不調・中止案件含む）のうち、電子入札92件、郵便入札81件、紙入札８件を執行しました。
所管室・課：契約検査課	

総合評価・総括	全体の達成度
契約事務における透明性・公正性・競争性の確保については、入札等監視委員会における契約案件の審議により、担保できたと考えます。とりわけ、委員会当日のヒアリング審議案件の抽出にあたっては、資料を早期送付（約２週間前）したことで、委員が十分に案件の内容を精査のうえ選択いただく時間を確保できました。また、全入札案件のうちの95.5%を電子、又は郵便入札で実施したことについては、当初の目的であった参加者の負担軽減に寄与できたと考えます。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
電子、郵便入札の割合を増やしましたが、入札参加者数が規定を満たさず、中止になった入札案件が全体の約11%あったことに注目し、更に参加者の増加を促す方策を検討していきたいと考えます。

令和５年度 市民部の運営方針

部	市民部	部長	小林　一裕
理事	奥野　秀樹（にぎわい観光担当）		

【基本方針】

市民部では、「市役所の顔」となる窓口サービスを始め、人権、環境など、市民生活に直結した業務を市民ニーズの把握に努めながら進めるとともに、産業の振興、地域資源の活用や観光資源の充実、そしてコミュニティ活動への支援等を行っています。
各部署の目標達成に向けては、まず市民課において、マイナンバーカードの交付率の向上を受け、窓口の混雑緩和によるサービスの向上を目指します。
また、人権が常に尊重される地域社会の実現のため、令和４年度に改正された柏原市人権行政基本方針・推進プランに沿って、部落差別を始めとする様々な人権課題の解消に向けて、啓発や相談体制の充実、平和事業の推進、さらには、令和６年度に予定している「第４期かしわら男女共同参画プラン」の策定に向けて、今年度に策定の基礎資料となる「市民意識調査」を実施し、男女共同参画社会の実現に向け、取組を進めます。
環境施策については、ごみの減量化を進め、地域のリサイクル活動を支援し、関係機関との連携により、河川の水質改善や環境整備に努めます。
また、産業振興においては、既存の制度を見直すことで、市内空き店舗等を活用した新規出店の増加を目指すとともに、観光施策においては、日本遺産を中心に、旅行会社のツアー誘致やプロモーションの充実、さらにはおもてなし環境を整備し、交流人口・関係人口の増加を図ることで、にぎわいの創出に努めます。
最後に、防犯対策として、地域の皆様が安心して暮らしていただけるように、関係機関や地域コミュニティと一体となって、防犯意識の高揚に努めるとともに、防犯カメラの設置を進め、生活防犯対策を一層推進することで、安全で安心して暮らせるまちを目指します。

【重点目標】

1	目標	（５）	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	市政運営	令和5年度達成状況
	窓口サービスの充実					A
2	目標	（４）	やさしさと思いやりを育むまち	分野	人権・男女共同参画	令和5年度達成状況
	部落差別をはじめとする様々な人権問題の解決に向けて、周知・啓発の推進や相談体制の充実及び平和事業の推進を図るとともに、男女共同参画社会の実現に向けた取組みを実施					A
3	目標	（２）	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	環境保全	令和5年度達成状況
	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの推進】					B
4	目標	（２）	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	商工業	令和5年度達成状況
	新規出店者に向けた支援策を利用しやすく改正し、市内空き店舗等を活用した新規出店の増加を目指します。					D
5	目標	（２）	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	観光	令和5年度達成状況
	交流人口・関係人口の増加とおもてなし環境の整備					A
6	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防犯	令和5年度達成状況
	防犯対策の推進					A

【達成度について】
Ａ：達成（目標を達成することができた。100%）
Ｂ：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
Ｃ：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
Ｄ：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
Ｅ：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	市民部

重点目標　1	窓口サービスの充実

今年度の達成目標
マイナンバーカードの交付率が令和4年度末時点で68.8%になったことから、コンビニ交付サービスの更なる利用促進により、窓口の混雑緩和をはかります。

→

達成状況	達成度
コンビニ交付の利用率が令和５年度末時点で37.3%となり、利用率が上昇しました。	A 達成

↓

具体的取組	
庁舎内に設置した行政キヨスク端末により、住民票等コンビニ交付サービスの利便性をアピールし、利用促進をはかります。	
所管室・課	市民課

→

具体的な取組実績
窓口来庁者に庁舎内に設置された行政キオスク端末をご案内することで、コンビニ交付サービスの利用を体験していただきました。

↑

総合評価・総括	全体の達成度
市役所来庁者に庁舎内設置の行政キオスク端末を一度ご利用いただくことで、今後のコンビニ交付の利用につなげることができます。	A 達成

今後検討すべきこと
コンビニ交付が増加することで、窓口の混雑状況の緩和が図られるように今後とも継続してマイナンバーカードの取得促進に努めてまいります。

部	市民部

重点目標　2	部落差別をはじめとする様々な人権問題の解決に向けて、周知・啓発の推進や相談体制の充実及び平和事業の推進を図るとともに、男女共同参画社会の実現に向けた取組みを実施

今年度の達成目標	達成状況	達成度
令和４年度に改定された人権行政基本方針・推進プランに沿って関係団体と連携しながら、様々な人権課題の解決に向けて、周知・啓発や相談体制の充実を図ります。同時に平和事業の推進に取り組みます。	人権課題の解決に向けて、様々な手法により周知・啓発を行うとともに、相談員のスキルアップや関係機関との情報共有を行い相談体制の充実を図りました。 平和展では、こどもも参加してもらえるよう工夫し、多くの親子連れに参加してもらうことができました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
男女共同参画社会の推進を目的として、法定にて令和６年度に策定予定の「第４期かしわら男女共同参画プラン」の基礎資料となる市民意識調査を実施します。	調査票を発送した2,000人のうち、約35%から回答を得ることで、令和６年度に策定する「第４期かしわら男女共同参画プラン」の基礎資料とすることができました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
広報誌や市ウェブサイト、各種行事を活用した啓発活動を引き続き実施します。また、相談者一人ひとりに寄り添い、十分に傾聴することのできるよう相談体制の充実を図ります。	従来からの啓発活動に加え、市民の方に手に取っていただけるよう啓発カードを作成し、市内各公共施設に設置しました。 また、大阪府人権総合講座等を受講し、相談員の相談対応力のスキルアップを図りました。
所管室・課：人権推進課	

具体的取組	具体的な取組実績
市民意識調査については、関連する法改正を反映させるとともに、男女共同参画に関する実態の把握を目的とした設問や実施方法などを調査研究し、男女共同参画審議会に意見を図りながら実施します。	市民意識調査票については、専門知識を持った学識経験者より助言指導を受けながら、前回の調査票項目を取捨選択しつつ、法改正や社会情勢を反映させた素案を作成し、男女共同参画審議会に諮り決定し、調査については市内2,000人に郵送を行いました。
所管室・課：人権推進課	

総合評価・総括	全体の達成度
従来からの周知・啓発活動に加えて、持ち運びしやすいカードサイズの周知カードを作成し市内各施設に設置するなど新たな試みに取り組み、相談事業については通年行っている各種相談に加え、行事に合わせて特設相談を実施しました。 来年度策定予定の男女共同参画プランの基礎資料となる市民意識調査を実施するとともに、男女共同参画センターで日中開催している講座に参加しずらい子育て世代に向けて、初めての試みとなる、講座の動画配信を行いました。	A 達成

今後検討すべきこと
様々な人権課題に関する差別解消に向けての周知・啓発を実施し相談体制の充実を図るなど、人権施策の推進に取り組んでいきます。 また、令和６年度には、今年度行いました「男女共同参画社会づくりに関する市民意識調査」を基礎資料として、「第４期かしわら男女共同参画プランの策定に取り組んでいきます。

部	市民部

重点目標　3	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの推進】

今年度の達成目標
拠点回収場所を増やすことにより、市民意識調査の「環境保全」の満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
市民の利便性を考慮し、水銀廃棄物の回収場所を拡充し、市民意識調査の「生活環境」「環境保全」の満足度に関しては、合計点が前回の6.87点から0.21点減少し6.66点になりましたが、項目全体の30項目では、平均値より上を維持することができました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
集団回収による回収量と実施団体数を、前年度より増とすることを目指します。

達成状況	達成度
今年度の実施団体は昨年度と横ばいで、活動内容についても例年どおり聞き及んでいる中で、世間的に新聞や雑誌の発行部数が減少していることも一つの要因となり、回収量は前年度と比較し、880トンから155トン減少し、725トンという結果になりました。	B 概ね達成

具体的取組	
水銀による環境汚染を防止するため、水銀使用廃製品について、市内公共施設における拠点回収を実施します。	
所管室・課	環境対策課

具体的な取組実績
市内公共施設に回収ボックスを設置し、蛍光灯・乾電池・ボタン電池・水銀温度計・水銀血圧計の回収を実施。今年度は、約5，686ｋｇ回収しており、前年度より952ｋｇ増加しています。

具体的取組	
町会やこども会などによる新聞紙等の回収事業を拡大します。	
所管室・課	環境対策課

具体的な取組実績
今年度の町会やこども会などリサイクル登録団体は52団体と横ばいですが、回収量に応じて１キロあたり4.5円をリサイクル助成金として補助していましたが、４半期の内、２期から助成金の単価を１キロあたり0.5円上げて５円とし地域のリサイクル活動の活性化と資源の循環利用の推進に努めました。

総合評価・総括
リサイクル登録団体数は１団体の増となっておりますが、リサイクル活動においても現状維持という内容となっており、４品目のうちダンボールとアルミ缶は微減で、新聞紙と雑誌は、前年比22%と15%の減となっており、様々な要因でこの傾向は続くものと思われます。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
ごみ減量やリサイクルの促進に繋がる取組を考える上で、ごみ処理の基本的事項を定めた一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定してまいりたいと考えております。

部	市民部

重点目標　4	新規出店者に向けた支援策を利用しやすく改正し、市内空き店舗等を活用した新規出店の増加を目指します。

今年度の達成目標
柏原市で新規に出店したいという方を支援します。

→

達成状況	達成度
より多くの方が申請しやすい事業とするため制度改正を行いましたが、３件の交付決定に止まりました。	D 未達成

↓

具体的取組
柏原市新規出店促進事業者補助事業の一件当たりの交付額を変更して、交付件数を増やします。

所管室・課	産業振興課

→

具体的な取組実績
一件当たりの交付上限額を60万円から10万円に変更して、交付件数を最大３件から18件に増やしました。

具体的取組
補助金交付後２年間にわたり、提出を求めていた業務報告を、交付の翌年度末のみとします。

所管室・課	産業振興課

→

具体的な取組実績
補助金交付後２年間にわたり、提出を求めていた業務報告を、申請者負担軽減のため、交付の翌年度末のみとしました。

総合評価・総括
創業者数は増加しているものの、ネット販売や自宅を店舗にするなど、市内の空き店舗や空き家を活用して、新規出店される方が増えていません。 また、新規出店される方に、この補助制度の存在が届いていないことも考えられるため、制度を知ってもらう機会が必要と考えます。

全体の達成度
D 未達成

今後検討すべきこと
市広報誌やホームページ、ＳＮＳによる周知を充実させるほか、商工会の創業支援セミナー事業やチャレンジショップ事業と連携した、周知・広報にも努めてまいります。

部	市民部

重点目標　5	交流人口・関係人口の増加とおもてなし環境の整備

今年度の達成目標
地域資源の活用により、知名度向上と交流人口・関係人口の増加につなげます。

達成状況	達成度
日本遺産に認定された龍田古道・亀の瀬地域で実施するプロジェクションマッピングに令和５年の１年間で２万人を超える観覧者があり、一定の知名度向上と交流人口の増加に寄与できました。	A 達成

今年度の達成目標
観光資源の充実により、とおもてなし環境の整備を図ります。

達成状況	達成度
昨年度に引き続き、ボランティアガイドの育成に務め、令和６年３月末時点で47名を認定したほか、新たに10品を日本遺産推奨商品として認定しました。 市役所前大和河川敷でのイベント充実のため、河川空間のオープン化の指定を受けることができました。	A 達成

具体的取組	
日本遺産「龍田古道・亀の瀬」を中心に、本市の地域資源を活用して、旅行会社のツアー誘致およびメディア等へのプロモーションを行います。	
所管室・課	にぎわい観光課

具体的な取組実績
近畿日本鉄道株式会社との協力体制により旧玉手山トンネルと亀の瀬トンネルを巡るツアーが開催されました。また、ジャパンフィルムコミッションへの加盟により、映画やドラマのロケ地の候補地として、本市が選択される事例が増えました。令和５年度は短編映画を含む３件が撮影地として利用され、その他地上波等の情報番組では７件の番組で市内の各所や取組が発信されました。

具体的取組	
河川空間のオープン化に向けて、市役所前河川敷公園での社会実験の実績を積むとともに、亀の瀬では、来訪者の満足度を高め、滞在時間を延ばすための取組を行います。	
所管室・課	にぎわい観光課

具体的な取組実績
市役所前河川敷でロハスパーク大阪柏原やサウナ飯フェス等、７件のイベントを社会実験として実施しました。 亀の瀬では旧大阪鉄道亀瀬隧道内でのプロジェクションマッピング投影を本格的に実施し、多くの方に観覧いただきました。アンケート結果では、５点満点の4.6点と高評価を得ることができました。

総合評価・総括
日本遺産「龍田古道・亀の瀬」にある、日本遺産構成文化財の一つである旧大阪亀瀬隧道内でのプロジェクションマッピングの実施をはじめ、情報発信を繰り返すことにより、亀の瀬の来訪者が飛躍的に増加し、観光地としての潜在的な可能性を引き出すことができました。この機運を市域に誘導し、さらなるにぎわいの創出を目指します。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
既存の日本遺産に関するコンテンツをさらにブラッシュアップするため、民間事業者の協力を得ながら、本市のプロモーションを進めてまいります。また大阪・関西万博の機運醸成に向けたイベントにおいて、本市の魅力を発信し、交流人口の増加に努めてまいります。

部	市民部

重点目標　6	防犯対策の推進

今年度の達成目標	達成状況	達成度
警察などの関係団体と連携し、特殊詐欺被害や女性や子どもに対する犯罪被害防止の啓発、市民の防犯意識の高揚に努めるとともに、地域への防犯カメラの設置を推進します。	警察と連携し、女性や子どもに対する犯罪被害防止を目的とした啓発キャンペーンを行いました。また防犯カメラについては、新設・取替を促すことにより、合計して15台設置することができました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
市民意識調査の「防犯体制」満足度を前回数値より高めます。	令和４年度の市民意識調査結果では「防犯」項目の満足度が3.36となり、前年度の3.31より高めることができました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
関係機関や団体と連携し、防災無線を活用した特殊詐欺被害防止の呼び掛けを実施するとともに、犯罪被害防止に向けた啓発活動を行います。また、防犯カメラ新設補助金の積極的な活用を促進します。	警察と連携して駅周辺などで、防犯グッズの配布など犯罪被害防止に向けた啓発活動を実施したほか、市内で特殊詐欺の可能性がある事案を認知した際（38件）は、防災行政無線を活用して、事案の周知と注意喚起を行いました。 また、安全なまちづくりに向けて防犯カメラの新設補助金を周知し、自治会・町会に対し防犯カメラの設置を促しました。
所管室・課：地域連携支援課	

具体的取組	具体的な取組実績
各目標の進捗率向上を図るため、上記の取組を確実に実施することにより、市民満足度を高めます。	上記取組に加えて、警察車両や青色防犯パトロールを使用して巡回広報の実施や、防犯協会と連携して啓発グッズを金融機関へ設置するなど、特殊詐欺被害撲滅に向けた対策を強化しました。
所管室・課：地域連携支援課	

総合評価・総括	全体の達成度
防犯カメラについては、自治会・町会の理解も得てさらなる設置を進めることができました。また街頭での防犯啓発について、近年はコロナ禍の影響を受けて活動の自粛も余儀なくされてきましたが、５類への移行に伴い関係団体と連携した啓発活動を再開することができました。	A 達成

今後検討すべきこと
今後も引き続き自治会や町会に対して補助制度の積極的な活用を促すことで防犯カメラの設置を進めていきます。また市民の防犯意識の醸成に向けて、柏原警察署や柏原防犯協会等との連携をさらに密にし、啓発活動を強化していくことが大切です。

令和５年度 福祉こども部の運営方針

部	福祉こども部	部長	森口　秀樹

【基本方針】

「安全で安心して健やかに暮らせるまち」を実現するための関係する取組を政策目標とします。
目標を達成するため、支援を必要とする市民一人ひとりのニーズを的確に把握しながら、障害者、妊婦や子育て世帯など誰もが、身近な地域で不安なく自立して暮らすことができるまちを目指し、生活困窮世帯の自立支援、障害者の自立支援、妊娠期から子育て期までの伴走型支援、福祉サービスの質の向上と確保等、多岐にわたる課題に対し、部内連携体制を強化しつつ、総合的に取り組みます。

【重点目標】

1	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	地域福祉	令和5年度達成状況
	地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進					B
2	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	障害者福祉	令和5年度達成状況
	障害の有無にかかわらず、誰もが個人として尊重される共生社会への取組の推進					A
3	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	子育て支援	令和5年度達成状況
	妊娠期から子育て期における切れ目のない支援の充実					B
4	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	子育て支援	令和5年度達成状況
	放課後児童会待機「ゼロ」の継続と安定した運営					A
5	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	子育て支援	令和5年度達成状況
	保育環境の充実と入所枠の適正化					B
6	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	地域福祉	令和5年度達成状況
	福祉サービス事業者の健全かつ適正な運営及びサービスの質の確保					A

【達成度について】
Ａ：達成（目標を達成することができた。100%）
Ｂ：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
Ｃ：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
Ｄ：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
Ｅ：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	福祉こども部

重点目標　1	地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進

今年度の達成目標	達成状況	達成度
地域住民が集える社会的居場所づくり事業の取組を推進します。	社会的居場所づくり事業補助金の交付団体は前年度から１団体の減となりましたが、新たに活動を検討されていた団体が令和６年度からの活動開始に至りました。	B 概ね達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
各相談機関の横のつながりを強化し、包括的支援を推進します。	各相談機関の協働を推進するとともに、複雑化・複合化していく相談に対応するための、重層的支援体制を令和６年度から構築していく準備を整えました。	C 一部達成

具体的取組	具体的な取組実績
孤立化しやすい高齢者や子どもの社会的居場所を充実させるため、新たに社会的居場所づくり事業に取り組む団体を増やすための取組を実施します。	令和５年度は「子どもや高齢者の集まりの場」「地域交流サロン」などを開催する３団体に対して活動補助を行うことで、社会居場所づくりの推進を図りました。また今後居場所づくりに係る活動を検討されている団体に対し相談・助言等を行いました。
所管室・課：福祉総務課	

具体的取組	具体的な取組実績
複合的な生活困窮相談において、相談支援体制の連携強化を図るため、ＣＳＷを中心とした相談窓口体制を構築します。	高齢者・障害者・こども・生活困窮者という対象者別の専門的なサービスの提供の中で「制度の狭間」といった課題を解決するための検討を図り、対象者の属性を問わない相談支援体制の構築に向けた協議を行いました。
所管室・課：福祉総務課	

総合評価・総括	全体の達成度
高齢者、障害者、こども、生活困窮者という対象者の属性を問わない相談支援を行うため、関係部局の連携を図るとともに、それぞれ分野ごとで複雑化している課題を共有し、それらの課題解決に向けた取組を図りました。また、社会的居場所づくりの活動を支援している団体を支援することで、団体が活動しやすい環境の推進を図り、自宅以外に居場所がないと感じている方が安心して過ごせる場所の確保に努めました。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
生活困窮などに係る相談件数は今後増加していくことが見込まれます。関係機関の連携を強化し、これまで以上に相談者に寄り添った支援ができる体制整備を行う必要があります。また、様々な要因で地域社会との繋がりが薄い方の社会参加を支援するための取組を継続していくことが重要となります。

部	福祉こども部

重点目標　2	障害の有無にかかわらず、誰もが個人として尊重される共生社会への取組の推進

今年度の達成目標
「第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画」の最終年度として、成果目標及び活動指標を達成するとともに、障害者施策の充実に向け、次期計画を策定します。

達成状況	達成度
実態とニーズ等の調査等を踏まえ、策定委員会における活発な議論を行い、令和８年度までの障害福祉サービスや相談支援体制等の成果目標やサービス見込量を示す活動指標を定めた次期計画を策定することができました。	A 達成

今年度の達成目標
「柏原市障害者計画」が掲げる基本目標である、障害のある人が住み慣れた地域で安心して自立した生活がおくれるまちを目指し、生活支援サービスの充実を図ります。

達成状況	達成度
日常生活用具の給付品目として、聴覚障害者の情報支援として人工内耳用電池と、在宅療養等の支援として人工呼吸器用自家発電装置（又は外部バッテリー）を追加しました。 また、スポーツや季節のイベントを通じて、障害者の日常生活の充実につなげることができました。	A 達成

具体的取組	
第5次柏原市総合計画が掲げるインクルーシブな社会の構築を目指し、現計画の進捗状況や社会的ニーズの変化を反映させながら、市民アンケート及び事業所等へのヒアリングを実施します。	
所管室・課	障害福祉課

具体的な取組実績
市内在住の障害者手帳所持者や障害者サービス利用者1,000人に対する市民アンケートや市内の障害福祉関係事業所25か所、障害者関係団体４団体へのヒアリングやアンケートを通して、現状の把握やニーズ調査を実施しました。 計画策定委員会を４回開催し計画案を作成し、大阪府のヒアリング、障害者自立支援協議会の意見聴取も経て、最終案を報告しました。

具体的取組	
障害のある人がより円滑に安心して日常生活を送ることができるよう、日常生活支援用具等の生活支援サービスや日中活動の場の充実を進めます。	
所管室・課	障害福祉課

具体的な取組実績
他市や先進市の日常生活用具に関する調査を参考に、本市の日常生活支援用具の実施要綱の見直しを実施しました。また、障害者が充実した余暇活動を送れるよう、基幹相談支援センターにおいてボッチャ等の障害者スポーツの体験会やハロウィンイベント、柏原市自立支援協議会の部会活動においてバレンタインイベントを開催しました。

総合評価・総括
障害者自らが参加し活動できることを目的としてスポーツや余暇活動のイベントを開催することで、第５次柏原市総合計画にも掲げる障害者の社会参加活動への支援を進めることができました。また、計画策定を通じた調査において本市の現状を理解し、一定ニーズが認められた事案を検討課題として「第７期障害福祉計画」と「第３期障害児福祉計画」を策定できたので、今後の障害福祉サービスや支援体制の構築の目標・指標として取り組んでまいります。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
障害者の自立を促進するため、日常生活用具等の給付費目や価格の見直しを継続して行ってまいります。また日常生活の充実や社会参加促進のため、障害者の余暇活動として参加できる場を定期的に開催できるよう検討してまいります。

部	福祉こども部

重点目標　3	妊娠期から子育て期における切れ目のない支援の充実

今年度の達成目標
すべての子どもとその家庭及び妊産婦等が、切れ目のない支援を継続して受けることができる環境の充実を図ります。

→

達成状況	達成度
妊娠期からの伴走型相談支援の実施に伴い、妊娠届・妊娠８か月・出生届・生後２か月児の全戸訪問、乳幼児健診へと切れ目のない支援体制が構築できました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
支援の必要な妊婦及び子育て世帯の把握に努め、児童虐待の発生防止及び早期発見のため、相談支援の充実をはかります。

→

達成状況	達成度
相談支援の充実を図るため、定期的な会議や関係機関との個別ケース会議を必要時開催することができました。	B 概ね達成

↓

具体的取組
妊娠期からの伴走型相談支援の実施及び乳幼児健康診査や訪問指導において切れ目のない相談支援を実施します。

所管室・課	こども家庭安心課

→

具体的な取組実績
妊娠届出時面談を401件、妊娠８か月面談を352件、出生時面談を379件、乳児早期訪問（乳児全戸訪問）を387件行いました。 また、乳幼児健康診査を行い、受診率は４か月児健診が98.5%、１歳６か月児健診97.0%、３歳６か月が94.3%でした。3歳6か月児健診において新たに屈折検査の実施しました。

具体的取組
一体的相談支援機関である「こども家庭センター」の設置に向けた周辺環境の整備や専門職の適正配置などの準備を進めます。

所管室・課	こども家庭安心課

→

具体的な取組実績
児童家庭相談システムを導入し、主な連携先である保健センターと教育委員会にも配置しました。また、こども家庭センター設置に係る備品の購入により相談室の環境整備を行い、虐待対応専門員を１名配置しました。 各種会議の開催につきましては、個別ケース会議を85件、要対協実務担当者会議を12回、養育支援訪問事業会議を12回開催しました。

総合評価・総括
児童虐待の発生防止及び早期発見のため、妊娠期から面談や訪問、健診など対面での支援体制の充実をはかることができました。また、個別ケース会議についても関係機関と連携し、必要時に開催することができました。児童家庭相談システムについては、導入は出来ましたが、更なる効率的な運用に向けた改善を進めていきます。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
こども家庭センターの設置に伴うサポートプランの作成・活用など、母子保健と児童福祉の連携方法について検討を行います。また、児童虐待の発生防止・早期発見及び支援には、継続的なきめ細やかな支援が必要であることから専門職の配置を含めた支援体制の検討をしていきます。

部	福祉こども部

重点目標　4	放課後児童会待機「ゼロ」の継続と安定した運営

今年度の達成目標
放課後児童会への入会希望児童をすべて受け入れ、待機児童「ゼロ」を継続します。

→

達成状況	達成度
待機児童を出すことなく、希望する全ての児童が入会することができました。	A 達成

今年度の達成目標
子どもたちが安全で安心して生活ができる「居場所」としての放課後児童会のサービスの向上を図り、安定的な運営を目指します。

→

達成状況	達成度
学習や遊びの広がりを実現する新たな事業を実施し、放課後児童会のサービス向上につながりました。	A 達成

↓

具体的取組	
児童会施設の老朽化に伴う修繕等を行うとともに、入会児童数を踏まえて学校の余裕教室等も活用できるよう、学校と協議を進めます。 また、指導員について、ハローワークと連携した採用活動による人材の確保を行うとともに、スキルアップのために持続性のある専門研修を実施します。	
所管室・課	子育て支援課

→

具体的な取組実績
各学校の児童会施設の修繕対応に加え、堅下北小学校のプレハブ教室１棟を特別教室に移転するための改修工事を行い、令和６年度からの校舎内教室への移転を実現しました。 また、採用活動については、ハローワークと連携した面接会を３回実施し、面接により新たな人材を確保するとともに、専門研修も実施しました。

↑

具体的取組	
放課後児童会が学校生活の延長ではなく、日常の「遊び・生活の場」として過ごすことができるよう、ハード面だけでなくオンラインプログラムを活用した新しい取組を行うなど、児童が興味を持って楽しく過ごせる環境づくりを進めます。	
所管室・課	子育て支援課

→

具体的な取組実績
企業版ふるさと納税による寄附を活用させていただき、オンラインプログラムを実施できる環境の構築とプログラムを導入し、実際に各児童会において実践しました。これにより、子どもたちに新たな体験を提供でき、児童会における学習や遊びの幅が広がりました。

総合評価・総括
放課後児童会に入会する子どもやその保護者が安心して通会できるよう、老朽化した施設の修繕やプレハブ教室を１棟、小学校の特別教室に移転するよう進めることができました。また、オンラインプログラムを実施できる環境を整備し、他校の放課後児童会と交流を図るなど新しい取組を行い、子どもの体験の幅を広げ、より楽しい「居場所」づくりを進めることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
老朽化している放課後児童会施設の修繕等を順次進めていく必要があるとともに、オンラインプログラムを活用した取組も継続して進め、児童の体験や経験の場を広げる「居場所」としてより一層充実させていくよう努めます。

部	福祉こども部

重点目標　5	保育環境の充実と入所枠の適正化

今年度の達成目標
保育施設の給食の安定供給を目指し、令和６年度から全ての公立こども園、保育所において自園調理が開始できるよう準備を進めます。また、児童の安全確保や保護者の利便性向上に繋がる取組を推進します。

→

達成状況	達成度
令和６年度からすべての公立こども園、保育所において自園調理を実施する準備が整いました。また、民間保育施設のICT化や施設整備等に対する助成を行うことで、保育環境の充実を図ることができました。	A 達成

今年度の達成目標
年度当初の待機児童ゼロの達成を目指し、入所枠の適正化を図ります。

→

達成状況	達成度
国の定義による年度当初の待機児童はゼロとなったものの、すべての入所希望に沿うことができませんでした。	C 一部達成

↓

具体的取組	
公立２施設の調理室改修工事を実施するとともに、調理業務を実施する事業者の選定を行います。また、登降園システムの導入や保育環境の充実に向けた施設整備を実施する民間施設に対し、国の交付金等を活用した助成を行います。	
所管室・課	こども施設課

→

具体的な取組実績
令和５年度はこくぶこども園及びたまてこども園の調理室改修工事が計画どおりに完了するとともに、給食調理業務を実施する事業者を決定しました。また、登降園システムを導入した民間保育園２施設、大規模改修工事を実施した１施設に対し助成を行いました。

具体的取組	
保育ニーズの把握に努めると共に、民間保育園等の保育士確保の取組に対する助成を継続するなど、保育人材の確保に努めることで入所枠の適正化を図ります。	
所管室・課	こども施設課

→

具体的な取組実績
公立施設では、ハローワークや市広報誌、SNS等を活用して保育士の募集に努めると共に、民間施設の保育士確保の取組に対する助成を継続しました。また、第３期柏原市子ども・子育て支援事業計画の策定準備として、約2000世帯に対し、教育・保育や子育て支援事業に関するアンケート調査を実施し、ニーズの把握を行いました。

総合評価・総括	全体の達成度
自園調理開始に向けた取組については、公立２施設の調理室改修工事が完了し、当初の計画どおり、令和６年度からすべての公立保育施設で自園調理を開始する準備が整いました。 保育士確保の取組については、民間保育園に対する助成を継続しましたが、一部の民間園で保育士の退職者が一定数出たことから、年度当初の入所枠拡大にはつながりませんでした。また、待機児童については、国の定義による待機児童数はゼロとなったものの、すべての入所希望に沿うことはできませんでした。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
就学前児童数が減少する一方で、保育ニーズは増加傾向が続いています。令和５年度に実施しました教育・保育や子育て支援事業に関するアンケート調査の結果を元に今後のニーズ量を算出し、令和６年度に策定いたします柏原市子ども・子育て支援事業計画において、今後の提供量と確保方策について示してまいります。

部	福祉こども部

重点目標　6	福祉サービス事業者の健全かつ適正な運営及びサービスの質の確保

今年度の達成目標
福祉サービス事業者の健全かつ適正な運営及びサービスの質の確保を図ります。

→

達成状況	達成度
集団指導、実地（運営）指導を行い、事業者の健全かつ適正な運営及びサービスの質の確保を図りました。	A 達成

今年度の達成目標
福祉サービス事業者が適正に運営できるよう、必要とする情報を迅速に提供します。

→

達成状況	達成度
事業所が必要とする情報を、迅速にオンライン等で提供しました。	A 達成

↓

具体的取組	
関係法令等に基づき、事業者に対し、集団指導、運営（実地）指導等を実施します。	
所管室・課	福祉指導監査課

→

具体的な取組実績
集団指導については、事業者への効率的な周知を図るため、オンライン講義（YouTube動画視聴）形式で行いました。 実地（運営）指導については、計画通り行いました。

具体的取組	
事業運営に必要な情報をホームページ等で発信します。	
所管室・課	福祉指導監査課

→

具体的な取組実績
報酬関係、届出関係や研修案内等、事業運営に必要な情報をメールやホームページで事業者へ発信しました。

総合評価・総括
計画通り、集団指導と実地（運営）指導を行い、事業者の健全かつ適正な運営及びサービスの質を確保しました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
事業者による福祉サービスが、さらに良質なものとなるように、指導等を行っていきます。

令和５年度 健康部の運営方針

部	健康部	部長	田中　徹

【基本方針】

「地域のつながりの中で、いつまでも健康で安心して暮らしている」の実現を政策目標とします。
目標を達成するため、誰もが、身近な地域で、生涯を通じて健康に不安なく、自立して暮らすことができるまちを目指し、コロナ禍の影響で、弱くなった地域力の復活を図り、高齢者福祉の増進と健康寿命の延伸、健康づくり等の課題に対し、部内のみならず他部署との連携も強化して総合的に取り組みます。

【重点目標】

1	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	医療・保健	令和5年度達成状況
	新型コロナウイルスワクチン接種を始めとする予防接種事業の推進					A
2	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	健康づくり	令和5年度達成状況
	市民の健康意識の向上と主体的な健康づくりの推進					A
3	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	高齢者福祉	令和5年度達成状況
	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進					A
4	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	高齢者福祉	令和5年度達成状況
	高齢者が自主的に身体機能向上を行うための基盤の整備					A
5	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	健康づくり	令和5年度達成状況
	国民健康保険事業の健全な運営の推進					B

【達成度について】
Ａ：達成（目標を達成することができた。100%）
Ｂ：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
Ｃ：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
Ｄ：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
Ｅ：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	健康部

重点目標　1	新型コロナウイルスワクチン接種を始めとする予防接種事業の推進

今年度の達成目標
新型コロナウイルスワクチン接種において、希望する市民が円滑に接種できる体制を整え、接種を促進します。

→

達成状況	達成度
新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、柏原市医師会と連携し、希望する市民が円滑に接種できる体制を構築することができ、接種の促進に寄与することができました。 なお、努力義務規定のある65歳以上の接種率は春開始接種で55.0%、秋開始接種で52.4%でした。	A 達成

今年度の達成目標
子宮頸がんワクチン接種における9価ワクチン定期接種化の周知や令和6年度が終期となるキャッチアップ接種を促進するとともに、同じく令和6年度終期の風しん第5期定期接種を促進します。

→

達成状況	達成度
各予防接種の促進には差異がありましたが、周知については、当初の計画どおり実施できました。 なお、子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種の接種率は令和４年度末から4.0%上昇し45.4%、風しん第５期抗体検査の受検率は1.7%上昇し29.2%となりました。	A 達成

↓

具体的取組	
新型コロナウイルスワクチン接種の個別接種において円滑に接種が進むよう、適切な情報提供を行うとともに、適切な時期に接種対象者に接種券を送付します。	
所管室・課	健康づくり課

→

具体的な取組実績
令和５年度は重症化リスクの高い高齢者への接種を中心とした春開始接種と生後６カ月以上のすべての方を対象とした秋開始接種を実施しましたが、いずれの接種においても接種時の混乱を防ぐため、接種券の送付を段階的に実施するとともに、柏原市医師会と連携して周知に努めることで、円滑な接種に促進に取り組みました。

具体的取組	
各予防接種について円滑な接種が進むよう、適切な情報提供を行うとともに、必要に応じて個別通知などの接種勧奨を行います。	
所管室・課	健康づくり課

→

具体的な取組実績
子宮頸がんワクチンの９価ワクチンの定期接種化および風しん第５期抗体検査を始めとする各予防接種の周知につきましては、広報誌や市ウェブサイト、公式SNSを中心に周知を図りました。特に風しん第５期抗体検査では個別通知ハガキも活用し、接種勧奨に努めました。

総合評価・総括	全体の達成度
新型コロナウイルスワクチン接種を始め、各予防接種の実施につきましては、柏原市医師会等の協力により円滑に推進することができました。ただし、子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種では新たに対象となった高校２年生相当の方に、風しん第５期抗体検査では未受検者に対し個別勧奨を行いましたが、接種率や受検率に大きく寄与できなかったことから、個別勧奨の方法等に検討の余地がある結果となりました。	A 達成

今後検討すべきこと
令和６年度は子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種と風しん第５期抗体検査実施の最終年度となることに加え、新型コロナウイルスワクチン接種が定期接種化されますことから、個別勧奨を含めた周知方法に新たな手法を取り入れるなどの検討が必要であると考えています。

部	健康部

重点目標　2	市民の健康意識の向上と主体的な健康づくりの推進

今年度の達成目標
健康づくりプロジェクトチームによる健康づくり事業の啓発や取組を充実させます。

達成状況	達成度
健康づくりロゴマークでは、今後の事業に活用できるTシャツなどの啓発グッズを作成することができ、コミュニティ会館を活用した耳活フィットネスでは80名の参加があり、インターネット環境を活用することで、通常の健康教室の定員を大きく超える方に参加してもらうことができました。	A 達成

今年度の達成目標
歯科口腔ケア事業の推進について、70歳で健康な歯を24本以上有している市民を増やすため、歯周疾患検診における「7024コンクール」を実施します。

達成状況	達成度
歯科口腔ケアの推進と歯周疾患検診の受診率向上に向けた取組として、柏原市歯科医師会と協働で「柏原市良い歯の7024コンクール」を実施し、７名の受賞者を表彰することができました。	A 達成

具体的取組	
健康づくりプロジェクトチームにおいて、大阪教育大学と協働で健康づくりに関するシンボルマークの作成や地域のコミュニティ会館を活用した健康教室を開催することで、市民の主体的な健康づくりを支援します。	
所管室・課	健康づくり課

具体的な取組実績
健康づくりプロジェクトチームにおいて、大阪教育大学との協働による健康づくりロゴマークの作成や関西福祉科学大学および㈱オトバンクと協働でコミュニティ会館を活用した耳活フィットネスを実施するなど、産学官協働による新たな健康づくり事業を実施することにより、市民の主体的な健康づくりに取り組みました。

具体的取組	
柏原市歯科医師会と協働し、歯周疾患検診を受診された70歳の市民から健康な歯を24本以上有している方を推薦いただき、それらの方を表彰することで歯科口腔ケアの推進と歯周疾患検診の受診率向上に取り組みます。	
所管室・課	健康づくり課

具体的な取組実績
柏原市歯科医師会と協働で「柏原市良い歯の7024コンクール」を開催し、国が推進する8020運動に先駆け、70歳で24本以上の健康な歯をお持ちの高齢者を表彰することで、歯科口腔ケアの推進と歯周疾患検診の受診率向上に取り組みました。

総合評価・総括	全体の達成度
健康づくりプロジェクトチームによる事業では新たな健康づくり事業の実施に加え、地域コミュニティの活性化といった部局横断的な課題への取組にも寄与することができました。また、当課の健康増進事業では歯周疾患検診をはじめとする各検診事業について、歯科医師会や医師会など三師会との連携により受診率の向上に取り組むことができました。	A 達成

今後検討すべきこと
健康づくりプロジェクトチームによる事業では引き続き部局横断的な課題の解決に資する取組を検討してまいります。また、当課の健康増進事業では、ヘルスリテラシーの向上や主体的な健康づくりの推進に資する新たな取組を検討いたします。

部	健康部

重点目標　3	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進

今年度の達成目標	達成状況	達成度
高齢者の徘徊時に早期発見を可能とするための支援を拡充します。	高齢者の徘徊時の早期発見の一助となるように、ＱＲコード付きシールを徘徊の可能性のある30名へ配布しました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
緊急通報システムの利用者数を増加します。	緊急通報システムの利用者数が前年度の634名に対し、今年度は667名と増加しました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
認知症やその疑いのある高齢者など、徘徊の可能性がある方へ、市役所や警察など関係機関の連絡先が分かるＱＲコード付きシールの配布を行います。	市や地域包括支援センターにおける認知症に関する相談対応時や、徘徊等で警察に保護された時などにＱＲコード付きシールの説明・案内を行いました。
所管室・課：高齢介護課	

具体的取組	具体的な取組実績
固定電話に設置する緊急通報装置が使用できない方のために、携帯電話回線を利用した緊急通報装置を新たに導入するとともに普及を図ります。	携帯電話回線を利用した緊急通報装置を導入し、広報かしわらや民生委員の会議を通じて、緊急通報装置の周知・普及を行いました。
所管室・課：高齢介護課	

総合評価・総括	全体の達成度
地域包括支援センター、警察署、民生・児童委員協議会等の関係機関の協力を得て、ＱＲコード付きシール及び緊急通報装置について一定の周知・普及が図ることができました。	A 達成

今後検討すべきこと
今後もＱＲコード付きシールや緊急通報装置等の高齢者の見守りに関する事業のさらなる周知・普及を図り、少しでも多くの高齢者がいつまでも住み慣れた環境で安全に生活ができる環境づくりに努めます。

部	健康部

重点目標　4	高齢者が自主的に身体機能向上を行うための基盤の整備

今年度の達成目標	達成状況	達成度
短期集中予防サービスの利用者数の増加を図ります。	短期集中予防サービスの利用者は、前年度27名に対し、今年度は52名と増加しました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
介護予防活動に取り組む高齢者の増加を図ります。	介護予防ポイント事業やボランティアポイント事業に参加された高齢者の数は前年度の707名に対し、今年度は875名となりました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
住民や介護関係者に対する講演会、自立支援型地域ケア会議を開催し、短期集中予防サービスの周知・普及を行います。	住民向けに介護予防に関する講演会を開催し、123名の参加がありました。ケアマネージャーやデイサービス事業者等の介護関係者向けに研修会や自立支援型地域ケア会議を開催し、79名の参加がありました。それぞれを通じて、短期集中予防サービスの周知・普及を行いました。
所管室・課：高齢介護課	

具体的取組	具体的な取組実績
地域包括支援センターと連携を図り、介護予防ポイント事業やボランティアポイント事業の高齢者への案内の周知を強化します。	高齢者からの介護予防活動に関する相談時や介護関係者等が参画する会議開催時に介護予防ポイント事業やボランティアポイント事業の案内を積極的に実施しました。
所管室・課：高齢介護課	

総合評価・総括	全体の達成度
短期集中予防サービスについて、サービスを受ける住民、サービスの提供を行う介護関係者への講演会や会議を通じて、サービスが浸透に繋がり、利用者数が増加し、当該利用者の生活課題の解決や身体機能の向上を図ることができました。 そして、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが２類から５類へ移行したこともあり、地域の会館や集会所で行う活動やボランティア活動に対する高齢者の関心が高まり、介護予防活動に取り組む高齢者数が増加しました。	A 達成

今後検討すべきこと
短期集中予防サービスの周知・啓発を図るため、引き続き、介護関係者、柏原市民への継続した本サービスの周知を行います。 高齢者が要介護状態に陥らないようにするために、介護予防活動に取り組む高齢者が活動の動機付けとなる介護予防ポイント事業やボランティアポイント事業の更なる充実を図ります。

部	健康部

重点目標　5	国民健康保険事業の健全な運営の推進

今年度の達成目標	達成状況	達成度
被保険者の生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定健診の受診率向上を図ります。	令和５年度の特定健診の受診率は、令和６年４月末時点の集計で37.9%と前年同時期の37.6%を上回りました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
国民健康保保険財政の健全な運営を推進するため、保険料の収納率向上を図ります。	令和５年度最終の収納率については、出納閉鎖後に確定しますが、令和６年４月末時点で93.10%と前年同時期の93.81%をわずかに下回っています。出納閉鎖まで少しでも収納率向上のため、今後も収納の確保に努めます。	B 概ね達成

具体的取組	具体的な取組実績
特定健診などの受診勧奨を行い、未受診者対策を実施します。	特定健診などの受診について、広報誌やウェブサイト等にて周知啓発を図りました。また、特定健診未受診者に特定健診などを受診勧奨するハガキを年２回、合計約12,000通送付しました。更に、電話・訪問での受診勧奨も実施しました。
所管室・課：保険年金課	

具体的取組	具体的な取組実績
納付相談の機会を増やします。また滞納処分を適切に実施します。	催告書の送付や納付忘れを防ぐためのSMS（ショートメールサービス）の配信による納付勧奨を行いました。また、預金などの差押えを177件実施しました。
所管室・課：保険年金課	

総合評価・総括	全体の達成度
特定健診の受診率が向上したことで、より多くの被保険者の生活習慣病の発症や重症化の予防に資することができました。 また、保険料の収納率は前年度を僅かに下回りましたが、国保財政の健全化と保険料を納期限内に納付されている方との公平性の確保を図ることができました。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
特定健診の受診行動を起こすためには、医師や看護師からの受診勧奨が最も効果的であるといわれていることから、今後も柏原市医師会と連携する等、受診勧奨の取組を検討していきます。また、収納率の向上について、他市の好事例の情報収集に努めてまいります。

令和５年度 都市デザイン部の運営方針

部	都市デザイン部	部長	森本　貞男

【基本方針】

都市デザイン部では、道路、河川、公園等の都市基盤施設について、利便性向上のための整備や災害に強いまちづくりを実現するための日常及び計画的な維持補修、長寿命化、耐震化の取組を行います。また、住宅等の耐震化及び空家等対策の促進を図ります。
公園や広場、緑地については、市民協働による憩いとやすらぎの場にするとともに、災害時の一時避難にも利用できるよう、安全で安心な施設として維持保全に努めます。
あわせて、市民の利便性向上や地域の活性化、防災体制の強化を図るため、バリアフリー化の促進や緊急交通路などの整備を促進します。
交通安全対策としては、警察や交通安全協会と連携し、交通事故や放置自転車の減少に努め、市民の安全意識の高揚を図るための啓発活動の充実や通学路の安全対策に取り組みます。
市内循環バスについては、公共交通施策を推進するため市民のニーズや利用状況を把握し、効果的効率的な運行に努めるとともに、利用者の利便性向上のため取組を推進します。

【重点目標】

1	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和5年度達成状況
	災害に強い強靭なまちづくりの推進					B
2	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	交通安全	令和5年度達成状況
	交通安全対策の推進					B
3	目標	（３）	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	土地利用	令和5年度達成状況
	都市基盤の整備計画の推進					A
4	目標	（３）	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	公園・緑地	令和5年度達成状況
	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と快適で安全安心な公園、広場とするための維持管理					B
5	目標	（３）	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	道路	令和5年度達成状況
	都市基盤の計画的、効果的な整備と維持補修の推進					A
6	目標	（３）	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	公共交通	令和5年度達成状況
	公共交通施策の推進					A

【達成度について】
Ａ：達成（目標を達成することができた。100%）
Ｂ：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
Ｃ：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
Ｄ：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
Ｅ：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	都市デザイン部

重点目標　1	災害に強い強靭なまちづくりの推進

今年度の達成目標	達成状況	達成度
耐震診断、耐震改修、除却、ブロック塀撤去の補助制度について、前年度からの利用者数を増加させます。	前年度利用者数と比較し、耐震診断については３件減、耐震改修は同数、除却は２件増、ブロック塀撤去は３件減であり、総数では４件減となりました。	C 一部達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
柏原市橋の長寿命化計画に基づき国分寺大橋の補修と大規模地震に備えた耐震補強工事を進めます。	一級河川大和川の河川内にある橋脚について、橋脚部及び上部構造部の補修と耐震補強工事を進めました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
道路強靭化に向け、上市法善寺線の道路整備を行います。また、都市計画道路田辺旭ヶ丘線の整備を推進します。	上市法善寺線において、道路整備に必要な用地を取得しました。 また、田辺旭ヶ丘線については、詳細設計を行っております。	B 概ね達成

具体的取組	具体的な取組実績
建物所有者に耐震化に対する理解を更に深めて頂くよう個別訪問や相談会等を実施し、耐震化の普及啓発に努めます。	耐震化の普及啓発として、旧耐震基準の住宅を対象にDMの配布（約400戸）、令和４年度に耐震診断補助を利用された方（９名）に対してDM送付、広報誌への掲載、市有施設への啓発資料の設置、「耐震個別相談会と講演会」の開催（７月）、耐震パネルの展示（４～５月）等を行いました。
所管室・課：都市開発課	

具体的取組	具体的な取組実績
橋脚部においてコンクリート巻立てによる耐震補強を行います。また、コンクリート床版のひび割れ補修及びはく落防止、鋼桁端部の塗替え塗装、落橋防止装置の設置を行います。	橋脚部においてコンクリート巻立てによる耐震補強を行いました。また、コンクリート床版のひび割れ補修、鋼桁端部の塗替え塗装、落橋防止装置の設置を行っております。
所管室・課：都市政策課	

具体的取組	具体的な取組実績
道路整備に必要な用地取得を進め、上市法善寺線において道路整備工事（歩道整備）に取り組みます。 また、田辺旭ヶ丘線において工事に向けた詳細設計及び埋設物調査を行います。	上市法善寺線において、道路整備に必要な用地を取得しました。 また、田辺旭ヶ丘線については、埋設物調査や鉄道業者と協議を行い、工事に着手するための詳細設計を行っております。
所管室・課：都市政策課	

総合評価・総括	全体の達成度
住宅の耐震化の促進に向け、引き続き補助制度の利用促進を図る必要があります。 国分寺大橋においては、橋脚部の補修及び耐震補強工事が完成しました。上部構造部については、引き続き補修と耐震補強工事を行います。 道路整備につきましては、道路整備工事に着手し、事業効果を早期に発揮する必要があります。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
住宅の耐震化については、防災関連イベント等による普及啓発や、市有施設への啓発パンフレットの設置など引き続き各種補助制度を積極的にPRをおこなってまいります。 国分寺大橋、上市法善寺線及び田辺旭ヶ丘線については、事業進捗の管理を行ってまいります。

部	都市デザイン部

重点目標　2	交通安全対策の推進

今年度の達成目標
通学路の安全対策について、通学路点検等を継続して実施し、通学路の安全・安心確保に努めます。

達成状況	達成度
「柏原市交通安全総合整備計画」に基づき、計画通り水路の暗渠化を実施し、通学の安全確保を図りました。	A 達成

今年度の達成目標
啓発活動を通じて、交通事故ゼロ、また駅前自転車等放置禁止区域において、自転車等の放置台数ゼロを目指します。

達成状況	達成度
春・秋の交通安全運動期間等において、交通安全啓発活動・各小学校等では交通安全教室を実施しました。 放置自転車等対策につきましては、街路指導や移動運搬を強化しましたが、JR柏原駅周辺の自転車等の放置が顕著でありました。	B 概ね達成

具体的取組
「柏原市交通安全総合整備計画」に位置付けている水路の暗渠化・フェンスの設置・道路照明灯の設置等の詳細設計に基づき、工事に着手します。

所管室・課	交通政策課

具体的な取組実績
「柏原市交通安全総合整備計画」に基づき、柏原小学校区１箇所・国分小学校区１箇所で水路の暗渠化の工事を実施しました。

具体的取組
関係機関と連携をしながら、交通安全キャンペーン等やウェブサイト、市広報誌等を活用した啓発活動を行うとともに市内認定こども園・小学校等において交通安全教室を行います。 また、放置自転車等の対策として、駅前の放置自転車等に対する街路指導等を強化します。

所管室・課	交通政策課

具体的な取組実績
春・秋の交通安全運動期間において、市広報やSNSでの啓発記事の掲載や各種スーパーでの啓発活動、各小学校通学路において、学童指導を実施しました。 交通安全教室につきましては、春と秋に幼稚園２園・認定こども園４園・保育所(園)７園・小学校９校で実施いたしました。 放置自転車等につきましては、JR柏原駅前の放置が顕著なため、街路指導・移動運搬を強化しました。

総合評価・総括
「柏原市交通安全総合整備計画」に基づき水路の暗渠化を２校区で実施し、通学路の安全対策に努めました。 また、柏原警察署・柏原交通安全協会と連携し、各種交通安全啓発活動・交通安全教室を実施しました。 その結果、令和４年と令和５年の市内交通事故件数を比較しますと、33件減少となりました。 放置自転車等対策につきましては、JR柏原駅周辺の自転車等の放置が顕著であるため、対策が必要です。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
放置自転車対策につきましては、引き続き街路指導や移動運搬を強化するとともに、JR柏原駅駅前自転車駐車場の利便性向上等に努めます。

部	都市デザイン部

重点目標　3	都市基盤の整備計画の推進

今年度の達成目標	達成状況	達成度
柏原駅東地区のまちづくり構想の策定を行います。 また、大県本郷線（ＪＲアンダーパス部）開通後の交通状況を把握します。	柏原駅東地区の活性化を図るため、柏原駅東地区のまちづくり構想を策定しました。 また大県本郷線（ＪＲアンダーパス部）開通後の交通状況を把握するため、交通量調査を実施しました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
西名阪自動車道スマートインターチェンジの設置検討を行います。	西名阪自動車道スマートインターチェンジの設置に向け、概略検討を行いました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
柏原駅東地区のまちづくりの方向性を検討し、柏原駅東地区のまちづくり基本構想を策定します。 また、柏原駅周辺の13地点で、交通量調査を実施します。	柏原駅東地区のまちづくりの方向性を検討するため、市民参加のワークショップや大阪教育大学での授業等で意見を聴取し、柏原駅東地区のまちづくり基本構想を策定しました。 また、柏原駅周辺の13地点で、交通量調査を実施し、大県本郷線開通前と開通後の交通状況を把握しました。
所管室・課：都市政策課	

具体的取組	具体的な取組実績
西名阪自動車道スマートインターチェンジ整備後の交通量予測と整備効果の検証を行います。 また、必要性・費用対効果等からスマートインターチェンジの設置位置・構造の決定を行います。	西名阪自動車道スマートインターチェンジ整備後の交通量予測と整備効果の検証を行いました。 また、スマートインターチェンジの設置位置・構造の検討、費用対効果の算出を行いました。
所管室・課：都市政策課	

総合評価・総括	全体の達成度
都市基盤の整備計画の推進については、柏原市都市計画マスタープランに基づいた柏原駅東地区の活性化に向け、まちづくり基本構想を策定しました。 また、西名阪自動車道スマートインターチェンジの設置に向け、整備効果の検証を行い、国土交通省へ整備の要望を行いました。	A 達成

今後検討すべきこと
柏原駅東地区の活性化については、まちづくり構想の実現に向け、実現化方策の検討を行ってまいります。 西名阪自動車道スマートインターの整備については、事業化に向け、引き続き関係機関と協議を行ってまいります。

部	都市デザイン部

重点目標　4	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と快適で安全安心な公園、広場とするための維持管理

今年度の達成目標	達成状況	達成度
公園や緑地などにおいて、地域の皆様との協働による、みどり豊かなまちづくりを進め、愛着をもっていただける場となるように努めます。	公園や協働緑地などでの、季節の花苗配布では、多くの団体に草花の植栽をしていただきました。市民協働による植樹等を行うことで、地域の皆様に愛着を持っていただける場となるよう努めました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
公園が、安全で、安心して利用でき、憩いとやすらぎの場となるように維持管理に努めます。	市内各公園の定期的な点検とともに、遊具の修繕、更新、草刈清掃、樹木の剪定などを行い、安全に安心して利用していただける、憩いと安らぎ、交流をもたらす場となるように努めました。また、旭ヶ丘第２ちびっこ老人憩いの広場のフェンスの改修、市内10公園の車止めの更新等を行い、快適性と利便性の向上に努めました。	B 概ね達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
河川空間のオープン化実現に向け、協議会により地域との合意を図り、大和川河川事務所等と連携し、都市・地域再生等利用区域の指定に向け進めます。	令和５年11月１日付けで「都市・地域再生等利用区域の指定」を受けました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
広報紙などで市民協働による草花の植栽を呼びかけ、希望される町会や団体などに、季節の花苗などを配布し、公園や緑地などの公共の場で、地域の皆様との協働による草花の植栽を行います。	広報誌による花苗配布の呼びかけを行い、年間２回、地域への花苗配布を実施しました。（春:3,320株・33団体、秋:3,064株・34団体）協働緑地においても、年6回の花苗配布を行い、市民と協働で花苗の植栽や草刈り等を実施しました。
所管室・課：都市管理課	

具体的取組	具体的な取組実績
市内の公園では、遊具や施設の点検及び補修、あるいは草刈、樹木の剪定などを行なうほか、公園施設長寿命化計画の策定を行います。	市内の公園においては、職員による定期的な日常点検とともに、年１回の専門業者による遊具点検（104公園336基）を実施しました。また、旭ヶ丘第２ちびっこ老人憩いの広場のフェンスの改修のほか、大正公園、大和川治水記念公園、業平公園、安堂公園、史跡高井田横穴公園、春日台すずらん公園、中小企業団地３号公園、中小企業団地４号公園、石川町南第２公園の車止め55基の更新、砂場殺菌（31箇所）、樹木剪定（79箇所）、街路樹剪定（12箇所）、大和川河川敷芝生管理等を実施し、39公園で柏原市公園施設長寿命化計画を策定しました。
所管室・課：都市管理課	

具体的取組	具体的な取組実績
柏原市大和川河川空間利用調整協議会を開催し、都市・地域再生等利用区域の指定の要望を行います。	柏原市大和川河川空間利用調整協議会を２回開催し、社会実験の企画検討や実施報告を行い、都市・地域再生等利用区域の指定の要望書を提出し、令和５年11月１日に指定を受けました。
所管室・課：都市管理課	

総合評価・総括	全体の達成度
都市・地域再生等利用区域の指定、柏原市公園施設長寿命化計画の策定、花苗配布や協働緑地での植栽等、公園・広場の巡視及び維持管理等、一定水準達成できました。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
高齢化により、町会での公園などでのボランティア活動が難しいとの声が聞かれることから、安全で快適な公園・広場を確保していくためにも、市内公園・広場の効率的な維持管理体制を構築していく必要があります。 また、公園の老朽化が進んでおり、計画的に効率よく修繕、更新をしていく必要があります。

部	都市デザイン部

重点目標　5	都市基盤の計画的、効果的な整備と維持補修の推進

今年度の達成目標	達成状況	達成度
車両通行の安全確保及び農林業生産性の向上を図るため、信貴太平寺線の道路整備を行います。 また、平成31年3月に策定した柏原市バリアフリー基本構想における生活関連経路の整備を進めます。	信貴太平寺線の道路拡幅工事（３工区）を行いました。 また、生活関連経路である山ノ井法善寺線（１工区）の工事を進めています。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
道路の維持管理について、通行の安全を最優先に考えて、計画的及び効果的な維持補修により車両及び歩行者の安全な通行の確保に努めます。	道路パトロールの実施や計画的な道路の舗装工事を行うことにより、車両及び歩行者の安全な通行の確保の取組を進めました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
令和6年度の完成に向け、信貴太平寺線の道路拡幅工事（3工区・延長約200m）を行います。 また、生活関連経路である山ノ井法善寺線の歩道を含む道路整備工事(1工区・延長約220m)を行います。	貴太平寺線の道路拡幅工事（３工区・延長約200m）を行いました。 また、生活関連経路である山ノ井法善寺線の道路整備工事(１工区・延長約220m)に着手しました。
所管室・課：都市政策課	

具体的取組	具体的な取組実績
道路の舗装工事を、舗装修繕計画に基づいて行います。また、ＪＲ高井田駅歩道橋の補修工事に向けた設計業務を行います。 道路パトロールや市民からの通報により道路面や路肩などの破損、陥没等を確認した場合は、迅速に補修工事を行います。 市が管理する街路灯について、ＬＥＤ化によるカーボンニュートラルの推進、コスト軽減を図ると同時に、街路灯管理受付システムの構築を行います。	道路の舗装工事については、舗装修繕計画に基づき、市道石川東線において、舗装工事を行いました。 また、JR高井田駅歩道橋の補修工事に向けた設計業務を行いました。 パトロールの強化や市民の方からの通報に対して、迅速に対応し、補修工事を行いました。 市が管理する街路灯について、市内全域においてLED化を実施し、カーボンニュートラルの推進、コスト軽減を図り、街路灯管理受付システムの構築を行いました。
所管室・課：都市管理課	

総合評価・総括	全体の達成度
信貴太平寺線及び山ノ井法善寺線においては、計画通りに事業を行うことが出来ました。引き続き道路拡幅工事を行ってまいります。 市道石川東線において舗装工事を行ったことから、車両や歩行者等の安全な通行を確保することができました。 道路維持において、簡易な補修は職員によって行うとともに、補修工事につきましても迅速に行い、安全確保に努めました。 市が管理する街路灯について、市内全域においてLED化を実施し、街路灯管理受付システムの構築を行いました。	A 達成

今後検討すべきこと
信貴太平寺線及び山ノ井法善寺線の道路整備において、事業計画に遅れが生じないよう、事業の進捗管理を行ってまいります。 車両及び歩行者の安全安心な通行の確保について、引き続き対応してまいります。

部	都市デザイン部

重点目標　6	公共交通施策の推進

今年度の達成目標	達成状況	達成度
市内循環バスの運行最適化に向けた検討を行います。 また、公共交通に関する住民ニーズの把握に努めます。	乗車区間データ(ODデータ)の分析を実施しました。 また、市内循環バスの利用者に対するアンケート及び公共交通に関する地域住民アンケートを実施の上、ニーズ等を把握し、市内循環バスの運行最適化に向けた検討を行いました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
市内における公共交通の利便性向上のため、民間事業者との連携を図ります。	複数の公共交通事業者と現状や課題について共有し、連携強化を図りました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
市内循環バスの乗車区間データ(ODデータ)の分析やバス利用者へのアンケートを行い、利用状況の分析を行います。 また、公共交通に関する住民ニーズの把握に向け、地域住民へのアンケートやヒアリングを行います。	乗車区間データ(ODデータ)の分析を実施するとともに、バス利用者アンケートにつきましては、利用者に634部調査票を配布し、327部の調査票を回収、公共交通に関する地域住民へのアンケートにつきましては、住民基本台帳から無作為に抽出した3000人に調査票を配布し、1233部の調査票を回収しました。
所管室・課：交通政策課	

具体的取組	具体的な取組実績
公共交通事業者等と意見交換等を行い、新たな公共交通の導入に向けた検討を行います。	複数の公共交通事業者と現状や課題について意見交換を行いました。
所管室・課：交通政策課	

総合評価・総括	全体の達成度
乗車区間データ(ODデータ)の分析や市内循環バスの利用者に対するアンケート、公共交通に関する地域住民アンケートを実施し、利用状況やニーズ等の把握に努めることができました。 また、公共交通事業者と意見交換等を行い、現状・課題の共有を図ることができました。	A 達成

今後検討すべきこと
回答いただいたアンケート調査票を整理、分析し、市内循環バスの再編案や新たな交通モード導入に向けた素案を作成し、住民意見交換会を開催します。 また、公共交通事業者とは、引き続き意見交換等を行い、連携を行って参ります。

令和５年度 会計管理室の運営方針

室	会計管理室	会計管理者	杉本　利夫

【基本方針】

会計管理室は、予算を執行する機関に対して、内部けん制する権限が与えられており、これらの事務を担当する会計管理室は、会計管理者の補助組織として、公金の収支及び保管、支出負担行為の確認、決算の調製など会計管理者の権限に属する出納事務を担当しています。
そのため、出納事務の執行に当たっては、法律等に基づき、予算執行が適正に行われているかを厳正に審査し、適正かつ迅速な出納事務の執行と公金の適正管理に努めてまいります。
また、公金の運用については、社会経済状況を見ながら、安全確実かつ有利な方法で行います。

【重点目標】

1	目標	[redacted]	分野		令和5年度達成状況
	適正かつ迅速な出納事務の執行				A
2	目標	[redacted]	分野		令和5年度達成状況
	公金の適正管理及び運用				A
3	目標	[redacted]	分野		令和5年度達成状況
	指定金融機関等の検査の実施				A

【達成度について】
Ａ：達成（目標を達成することができた。100%）
Ｂ：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
Ｃ：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
Ｄ：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
Ｅ：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

室	会計管理室

重点目標　1	適正かつ迅速な出納事務の執行

今年度の達成目標

公金の収支が法令等に基づき、適正に執行されるよう厳正な審査を行うことで、さらなる信頼性の高い市政の確立を目指します。

達成状況

監査委員による出納検査において指摘事項はあったものの、直ちに改善を行うことにより適正な出納事務を実施することで、信頼性の高い市政の確立を図ることができました。

達成度

A

達成

具体的取組

支出命令書の作成等を法令等に基づき審査し、適正かつ迅速な支払事務を行います。

所管室・課	会計管理室

具体的な取組実績

審査において、常に担当者間で確認事項や情報共有の徹底を図りました。

具体的取組

審査の結果、書類不備等がある場合、各部署の担当者に対して助言・指導を行うことで、適正な出納事務を行います。

所管室・課	会計管理室

具体的な取組実績

各部署の事務処理に誤りや添付書類の不備などがあれば速やかに是正し、今後、繰り返すことがないよう助言や指導を行いました。

総合評価・総括

会計事務は業務範囲が広く幅広い知識が必要なことから、常に担当者間で確認事項や情報共有の徹底に努め、審査能力の向上を図りました。そうすることで、各部署の誤りや不備のある事務処理に対し、必要な助言や指導を行うことにより、適正かつ迅速な出納事務を執行することができました。

全体の達成度

A

達成

今後検討すべきこと

各部署の出納事務が適正かつ迅速に処理されるよう作成した、「財務会計システムマニュアル」について、その周知と活用の普及に努めてまいります。

室	会計管理室

重点目標　2	公金の適正管理及び運用

今年度の達成目標
公金の管理及び運用については、安全確実かつ有利な方法により管理し、効率的な資金運用を行います。

→

達成状況	達成度
金融機関への利率照会による競争原理の活用により、確実かつ効率的な運用を行いました。	A 達成

↓

具体的取組
歳計現金において収支見込を把握し、余裕資金が生じる場合には、安全確実かつ有利な方法で運用します。
所管室・課　会計管理室

→

具体的な取組実績
日々の収支状況と過去の収支実績を踏まえ収支予測を立て、歳計現金の運用可能額を見据えながら、余裕資金を用いて定期預金での運用を行いました。

具体的取組
基金については、歳計現金への繰替運用と基金を一括して安全確実かつ有利な方法で運用します。
所管室・課　会計管理室

→

具体的な取組実績
歳計現金への繰替え運用と一部の基金を除いた基金を一括して、定期預金での運用を行いました。

総合評価・総括
公金については、臨時の事業支出の支払予定等を含め、歳計現金の運用可能額を的確に見極めつつ、低金利の中ではありますが、安全かつ確実な定期預金の方法で適正な管理、運用を行うことができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
公金の運用については、安全性を最優先としながらも、少しでもより効率的な運用ができるよう活用方法の情報収集に努めてまいります。

室	会計管理室

重点目標　3	指定金融機関等の検査の実施

今年度の達成目標
指定金融機関等に対して、公金の収納や支払等の事務が適正に処理されているかを確認します。

→

達成状況	達成度
指定金融機関等に対して検査を実施し、公金の収納や支払等が適正に事務処理されていることを確認できました。	A 達成

↓

具体的取組
指定金融機関及び指定代理金融機関については、会計管理室職員が出向き、公金収納等の関係帳票の検査を行います。

所管室・課	会計管理室

→

具体的な取組実績
11月16日及び21日に、検査対象金融機関へ出向き、関係帳票の検査を行いました。

具体的取組
収納代理金融機関については、会計管理室への検査対象書類の提出を求め、検査を行います。

所管室・課	会計管理室

→

具体的な取組実績
検査対象期間を９月とした検査書類の提出を求め、11月に書類審査及び電話での聴き取り検査を行いました。

↑

総合評価・総括	全体の達成度
指定金融機関及び指定代理金融機関については実地検査を、収納代理金融機関については書類審査及び電話での聴き取り検査を実施し、対象金融機関すべてにおいて適正に事務処理されていることが確認できました。	A 達成

今後検討すべきこと
対象金融機関への検査方法や検査内容のさらなる充実に向け検討を行います。

令和５年度 上下水道部の運営方針

部	上下水道部	部長	瀬田友之

【基本方針】

「安全で安心して健やかに暮らせるまち」、「利便性と快適性の高い住みよいまち」を目標に事業を推進します。

下水道事業では、公共下水道整備第８次五箇年計画及びストックマネジメント計画に基づき、次の事業に取り組みます。
① 浸水：雨水ポンプ場施設の老朽化設備機器の改築更新と片山雨水ポンプ場に市内の雨水ポンプ場を遠方監視する装置の整備
② 生活排水：公共下水道の整備推進と公共下水道計画区域外での市町村設置型浄化槽の整備
③ 持続的・効率的な下水道サービスの提供：包括的民間業務委託の導入による下水道管路等の迅速かつ適正な維持管理

水道事業では、柏原市水道事業ビジョン2019～2028の理想像である安全・強靭・持続の実現を目指し、次の事業を進めます。
④ 水道システムの強靭化：老朽化した施設管路等の更新
⑤ 安定的な事業運営：水道水の安定供給と運営基盤の強化

【重点目標】

1	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和5年度達成状況
	浸水被害の防止					C
2	目標	（３）	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	下水道	令和5年度達成状況
	生活排水の適正な処理					A
3	目標	（３）	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	下水道	令和5年度達成状況
	持続的・効率的な下水道サービスの提供					A
4	目標	（３）	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	上水道	令和5年度達成状況
	水道システムの強靭化					A
5	目標	（３）	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	上水道	令和5年度達成状況
	安定的な事業運営					A

【達成度について】
Ａ：達成（目標を達成することができた。100%）
Ｂ：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
Ｃ：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
Ｄ：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
Ｅ：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	上下水道部

重点目標　1	浸水被害の防止

今年度の達成目標	達成状況	達成度
ストックマネジメント計画に基づき雨水ポンプ場の設備の改築・更新工事を進め、施設の信頼性・機能性の向上を図ります。	完成が遅れている令和５年度分の国分第２雨水ポンプ場、国分市場第１雨水ポンプ場のポンプ・電気設備の更新工事は令和６年９月末の完成を目指し、現在、鋭意施行中です。完成後は施設の信頼性・機能性の向上が図られます。	C 一部達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
ストックマネジメント計画に基づき市内の雨水ポンプ場を遠方監視するシステムの構築を進めます。	片山雨水ポンプ場に市内の雨水ポンプ場を遠方監視する装置の整備が完成しました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
老朽化したポンプ・電気設備の更新を行います。	国分第２雨水ポンプ場及び国分市場第１雨水ポンプ場のポンプ・電気設備の更新に取り組みました。しかし、国分第２雨水ポンプ場においては、関係機関（所轄消防）との協議、国分市場第１雨水ポンプ場については、ポンプ設備の効果的な機器配置と躯体構造確認等で不測の期間を要し、全ての更新が年度内に完成ができませんでした。
所管室・課：下水工務課	

具体的取組	具体的な取組実績
片山雨水ポンプ場に遠方監視するための装置の整備を進めます。	国分第２雨水ポンプ場の遠方監視制御する装置を片山雨水ポンプ場に整備することができました。
所管室・課：下水工務課	

総合評価・総括	全体の達成度
今年度予定していた雨水ポンプ場設備の更新をすべて完成することはできませんでしたが、台風時の大雨や突発的な集中豪雨等による浸水被害の軽減を図るため、計画的に雨水ポンプ場の設備機器の更新を進めています。	C 一部達成

今後検討すべきこと
引き続き、ストックマネジメント計画（令和２年度～令和６年度）に基づいて、老朽化した雨水ポンプ場設備の更新を進める他、多発する台風時の大雨や突発的な集中豪雨等に対し、日常点検、年次点検に努め、設備機器の状態を把握し、予防的維持管理に取り組みます。また、下水道施設全体の中長期的な施設の状態を予測しながら、維持管理、改築を一体的に捉えて計画的かつ効率的に管理する「第２期ストックマネジメント計画」を策定します。

部	上下水道部

重点目標　2	生活排水の適正な処理

今年度の達成目標
公共下水道整備第８次五箇年計画に基づき汚水整備を行い、令和５年度末の人口普及率８８．８％を目指します。

→

達成状況	達成度
令和５年度末の人口普及率８８．９％を達成することができました。	A 達成

↓

具体的取組	
約３ｈａの汚水整備を行います。	
所管室・課	下水工務課

→

具体的な取組実績
高井田、古町、国分市場、田辺、東条町地区など合わせて約３haの整備を完了することができました。

↑

総合評価・総括	全体の達成度
公共下水道整備第８次五箇年計画に基づく計画的な汚水整備を進めた結果、人口普及率８８．９％を達成することができました。	A 達成

今後検討すべきこと
公共下水道整備第８次五箇年計画の達成に向けて着実に汚水整備を進めるために、整備区域等の精査を行います。

部	上下水道部

重点目標　3	持続的・効率的な下水道サービスの提供

今年度の達成目標
包括的民間業務委託を導入し、維持管理業務の迅速化、適正化の向上を図ります。

→

達成状況	達成度
令和５年７月から包括的民間業務委託を開始し、住民対応や緊急時対応の迅速化、適正化が図られるとともに、事務手続の効率化を図ることができました。	A 達成

↓

具体的取組	
包括的民間業務委託を開始するため、事業者と要求水準書・提案書等の確認を行い、契約を締結します。	
所管室・課	下水工務課

→

具体的な取組実績
包括的民間業務委託の事業者と契約に向けた協議を実施し、契約を締結しました。

↑

総合評価・総括	全体の達成度
包括的民間業務委託の事業者と令和５年６月６日に契約を締結し、令和５年７月１日から業務を開始することができ、住民対応や緊急時対応の迅速化、適正化が図ることができました。	A 達成

今後検討すべきこと
包括的民間業務委託を確実に機能させるため、発注者側、受注者側の双方がモニタリングを実施し、その結果を踏まえたPDCAサイクルにより業務改善を行います。また、第２期包括的民間業務委託する業務内容の仕様書、要求水準書等に反映させます。

部	上下水道部

重点目標　4	水道システムの強靭化

今年度の達成目標	達成状況	達成度
老朽化した機械設備や電気設備を更新し、設備の信頼性向上を図ります。	老朽化した機械設備や電気設備を更新することにより、故障による断水リスク等が低減し、設備の信頼性の向上が図られました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
老朽化した管路の更新、耐震化を進め、管路の耐震適合率47%を目指します。	令和５年度末で管路延長約259kmの内、約121kmが耐震化され、耐震適合率は予定通り約47%を達成しました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
玉手浄水場、鉄工団地ポンプ場他において、ポンプ及び制御機器などの設備を更新します。	予定していた玉手浄水場、鉄工団地ポンプ場及び円明受水場のポンプ及び制御機器などの更新は、すべて完了しました。
所管室・課：水道工務課	

具体的取組	具体的な取組実績
水道管約３kmを更新します。	老朽化した管路の更新は順調に進捗し、令和５年度末で約３kmの水道管路を整備しました。
所管室・課：水道工務課	

総合評価・総括	全体の達成度
老朽化した機械･電気設備を計画的に更新･改良することで、設備故障による断水などで市民生活への影響を抑制し、水道の安定供給を維持しています。 今年度に予定していた老朽化した管路について、予定通り更新を行い、目標としていた耐震適合率約47%は達成できました。	A 達成

今後検討すべきこと
老朽化した管路や機械･電気設備の更新については、水道事業ビジョン（2019-2028）に基づき計画的に行うことを基本としつつ、各施設の老朽化の状態を把握し、更新の必要な箇所を適宜見極めながら引き続き取り組みます。

部	上下水道部

重点目標　5	安定的な事業運営

今年度の達成目標	達成状況	達成度
漏水や設備異常の早期発見と修繕により、水の安定供給を維持します。	管路の調査点検により、本管漏水や設備異常の早期発見による修繕につながり、水の安定供給を維持することができました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
近隣団体との広域連携を進めるとともに、大阪広域水道企業団と令和７年度に統合する方針を決定します。	大阪広域水道企業団との統合検討においては、統合案が策定され、それに基づき市議会で令和７年度に統合する方針が決定されました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
柏原地区を中心に漏水調査と水管橋・弁栓類の点検などを行うことにより、維持管理を行います。	柏原地区の144kmの漏水調査、水管橋･弁栓類の点検の他、市内68箇所の重要ポイントで管路常時監視を行いました。その結果、133箇所の修繕や補修が必要な箇所を発見することができ、早期の処置につなげることができました。
所管室・課：水道工務課	

具体的取組	具体的な取組実績
近隣団体との業務の共同発注及び大阪広域水道企業団との統合に向けた検討、協議を行います。	大阪広域水道企業団との統合に向けて統合案が策定され、統合による効果がまとまりました。
所管室・課：経営総務課	

総合評価・総括	全体の達成度
柏原地区の漏水調査と水管橋･弁栓類の点検等を行うことで、市民生活に大きな影響を及ぼす前に修繕することができ、水道の安定供給を維持できました。 大阪広域水道企業団との統合協議に関しては、令和７年度に統合する方針が決定されました。ただし、統合予定の６団体のうち１団体が統合協議を継続しないことを決定されたため、６団体での統合協議は不成立となりました。	A 達成

今後検討すべきこと
次年度は、国分地区を中心に調査･点検等、維持管理の業務を実施します。 大阪広域水道企業団との統合については、引き続き残る５団体で統合協議を継続します。

令和５年度 病院事務局の運営方針

局	病院事務局	局長	中川　拓也

【基本方針】

市立柏原病院では、自治体病院が担うべき地域医療の中心的な役割を果たすため、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応にあたるとともに、夜間、休日を含め必要となる医師数を確保し良質な医療の提供に努めてまいります。

【重点目標】

1	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	医療・保健	令和5年度達成状況
	医療提供体制の充実					A
2	目標	（１）	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	医療・保健	令和5年度達成状況
	持続可能な医療提供体制の確保					A

【達成度について】

Ａ：達成（目標を達成することができた。100%）

Ｂ：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）

Ｃ：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）

Ｄ：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）

Ｅ：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

局	病院事務局

重点目標　1	医療提供体制の充実

今年度の達成目標	達成状況	達成度
地域医療の拠点として新型コロナウイルス感染症への対応にあたります。	大阪府との連携のもと、１年間を通じて新型コロナウイルス感染症への対応（受入病床の確保・発熱外来の設置）に努めることができました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
新型コロナウイルス感染症の収束後に向けた病床の再編に取り組みます。	感染状況に合わせ新型コロナウイルス感染症患者受入病床を縮小するとともに一般病床を再開し、12月1日からは保有病床数220床での運用が可能となりました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
新型コロナウイルス感染症が一定の収束を迎えるまで、感染症患者さんの受入病床の確保や発熱外来の運営に取り組みます。	１年間を通じて感染状況に応じた大阪府からの要請病床数を確保し病床運用を行いました。また外来においては、他の患者さんとの導線の分離など感染対策を講じたうえで発熱症状のある方への診察（発熱外来）を行いました。
所管室・課：医事総務課	

具体的取組	具体的な取組実績
新型コロナウイルス感染症への対応を優先するため、現在（令和５年４月時点）休止している病棟の再稼働に向けた検討を進めます。	感染状況も一定の収束をみましたことから、６月以降休止病棟を段階的に再開しました。 （病床数44床のうち、６月１日から26床を再開、12月1日から18床を再開）
所管室・課：医事総務課	

総合評価・総括	全体の達成度
前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症患者の受入病床の確保、発熱者に対する外来診療の実施など、地域の医療機関としての役割を果たすことができたと考えています。	A 達成

今後検討すべきこと
新型コロナウイルス感染症への対応は継続して行いながら、地域の基幹病院としての役割をしっかりと認識し、地域の医療ニーズに沿った医療の提供が可能となるよう検討していきます。

局	病院事務局

重点目標　2	持続可能な医療提供体制の確保

今年度の達成目標
休日、夜間を含め適正な医療提供体制を維持し、医療を提供します。

→

達成状況	達成度
常勤医師の時間外労働を抑制するとともに休日、夜間を含めた医療提供体制を維持し、適正な医療を提供することができました。	A 達成

↓

具体的取組	
医師の働き方改革（医師の時間外労働規制等）に対応するため、適切な労務管理のもと適正な医師数の確保に取り組みます。	
所管室・課	医事総務課

→

具体的な取組実績
大阪公立大学医学部附属病院からの継続的な医師派遣により適正な医師数（常勤医）を確保するとともに人材紹介会社を活用した非常勤医師の確保により医師の時間外労働の縮減に努めました。

↑

総合評価・総括	全体の達成度
医師の時間外労働規制が開始される令和６（2024）年度に向け、常勤医師の時間外労働の抑制を図るとともに、非常勤医師を活用することでで適正な医師数を確保できました。	A 達成

今後検討すべきこと
適切な労務管理の推進に加え、タスクシフト／シェアの推進、ＩＣＴの活用、地域の医師会や診療所等との連携を検討します。

令和５年度 教育部の運営方針

部	教育部	部長	桐藤　英樹
監	中平　好美（教育監）	理事（監）	

【基本方針】

教育部ではこれからの社会変化に対応できる、「生きる力」を持った子供の育成に向けて、効果的な学校教育と、安全で快適な教育環境の整備を推進します。
学校教育においては、幼小中一貫教育を推進し連続性のある英語教育やキャリア教育に取り組みます。学力向上については、ICT等を効果的に活用した授業づくりを進め、体力向上については、体育の授業や部活動の充実に向け取り組みます。教育支援の充実については、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門人材を積極的に活用し、多様化する子どもたちへの支援体制を強化します。快適な教育環境の整備については、引き続き学校トイレの洋式化を行い、体育館の空調設備設置については、中学校に引き続き小学校にも着手します。
生涯学習においては、市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自主的に学習に取り組める環境の整備を進めるとともに、電子図書館の更なる利用促進に向けたコンテンツの充実等により、「知の拠点」としての図書館機能の強化を目指します。また、生涯スポーツを振興するため幅広い世代が気軽にスポーツを体験できるイベントの開催等により、市民の体力向上及び健康増進を図ります。
さらには、文化財の適切な維持管理により、歴史的、文化的資源の保護継承を図るとともに、本市の歴史的な魅力を積極的に情報発信することで、市民の地元への誇りや郷土愛を醸成します。

【重点目標】

1	目標	（４）	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和5年度達成状況
	幼小中一貫教育の推進					A
2	目標	（４）	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和5年度達成状況
	学力・体力の向上					B
3	目標	（４）	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和5年度達成状況
	教育支援の充実					A
4	目標	（４）	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和5年度達成状況
	快適な教育環境の整備					A
5	目標	（４）	やさしさと思いやりを育むまち	分野	生涯学習	令和5年度達成状況
	多様な学習機会と気軽に楽しめる生涯スポーツの提供					A
6	目標	（２）	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	歴史・文化	令和5年度達成状況
	文化財の保存、整備、活用					A

【達成度について】
Ａ：達成（目標を達成することができた。100%）
Ｂ：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
Ｃ：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
Ｄ：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
Ｅ：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	教育部

重点目標　1	幼小中一貫教育の推進

今年度の達成目標
英語教育の充実とキャリア教育を重点項目に位置付け、子どもたちが感じる校種間の段差を更に軽減させます。

達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、生活アンケート「学校は楽しいですか」の質問に「楽しい」と回答した割合は、小学校１年生、中学校１年生ともに、昨年度と概ね同じ傾向でした。	A 達成

具体的取組	
幼小中一貫教育推進教員を各中学校区に配置し、実践例の交流や研修を推進します。	
所管室・課	指導課

具体的な取組実績
幼小中一貫教育推進教員を各中学校区に配置しました。専門性を生かして小学校における外国語の指導を担うことにより、小中の連携が進み、子どもたちは校種間の段差を乗り越えやすくなっています。

具体的取組	
職場体験の取組みの実施や、SDGsについて探求的に学ぶ活動を推進します。	
所管室・課	指導課

具体的な取組実績
大阪府教育庁の実施する「わくわく・どきどきSDGｓジュニアプロジェクト」に複数の小中学校が参加し、「いのち輝くデザインを考える」という共通のテーマで探究的に学ぶ活動が進められました。

総合評価・総括	全体の達成度
幼小中一貫教育コーディネーター会議においては、学力の向上、生活指導上の課題等について協議することで、中学校区における特色ある教育の推進につながりました。	A 達成

今後検討すべきこと
各校区の一貫教育がより効果的なものにブラッシュアップされるよう、取り組んでまいります。

部	教育部

重点目標　2	学力・体力の向上

今年度の達成目標	達成状況	達成度
ICT等を活用した授業改善に取り組み、学力の向上を図ります。	達成目標の成果指標としていた、全国学力・学習状況調査における対全国比（全国の平均正答率を１とする）において、小学校は０．９７、中学校は０．９４という結果となりました。授業中でのＩＣＴ活用は、全国や府と比較して少ないことがわかりました。	B 概ね達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
体育の授業や部活動の充実により、体力の向上を図ります。	達成目標の成果指標としていた、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における対全国比（全国平均を50としたときの値）は、小学生（５年生男女）は下回りましたが、中学生（２年生男女）は上回り、２年生男子は前年度実施時の値より４．３%上昇しました。	B 概ね達成

具体的取組	具体的な取組実績
学力向上推進委員会を年間１０回実施します。ＩＣＴ支援員、学校司書を全校に配置し、ＩＣＴを効果的に活用できる授業の推進、読書活動の推進を進めます。	・学力向上推進委員会を年間の10回実施し、ＩＣＴを活用した効果的な授業づくりについての研究が進みました。 ・ＩＣＴ支援員を配置し、教員の授業づくりの支援や機器のトラブルに対応しました。 ・小中学校に、蔵書管理ソフトを導入し、図書室の環境整備を進め、読書活動の推進を進めました。
所管室・課：指導課	

具体的取組	具体的な取組実績
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を分析し、広く市民に周知します。 小学校３・４年生の体力等の状況について把握し、分析します。 部活動補助指導員を増員し、各中学校に配置します。	・全国体力運動能力、運動習慣等調査の結果分析を市のホームページ上に掲載することにより、学校だけでなく広く市民にむけて体力の状況を周知しました。 ・専門的な技術指導力を備えた外部の指導者を部活動補助指導員として各中学校に配置することにより、専門の競技とは異なる部を顧問する教員を支援し、生徒への指導を充実させました。
所管室・課：指導課	

総合評価・総括	全体の達成度
・ＩＣＴを活用した授業改善や学力向上に向けた取組については、「思考力・判断力・表現力」の育成をテーマに、学力向上推進委員会を中心に進めてきました。取組みの成果を生かし、各学校でも取り組んでいく必要があります。 ・体力については、全国と比べ中学生の週の運動総時間数が多いことがわかりました。小学生においては、体育の授業はもちろん、それ以外にも体を動かす活動の時間や機会の確保が重要だと考えます。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
・言語能力や情報活用能力など、未知の課題に主体的に対応できる力の育成をめざし、教員の授業力を向上させる研修を充実させてまいります。また、ＩＣＴを有効に活用した「分かる授業づくり」を、より一層推進してまいります。 ・体力向上に向け、子どもたちが楽しんで自ら体を動かそうとする教育活動や取組を進めます。

部	教育部

重点目標　3	教育支援の充実

今年度の達成目標

子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう学校の教育支援を充実させます。

達成状況

達成目標の成果指標としていた、生活アンケート「学校の中に相談できる大人はいますか」に「いる」と答えた全体の割合は、昨年度に比べて３%低下しましたが、中学２年生と３年生については、経年比較でみると上昇しました。

達成度

A

達成

具体的取組

スクールカウンセラーを全小学校及び教育研究所に配置します。
スクールソーシャルワーカーを全ての中学校区に配置し、活用を進めます。

所管室・課	指導課

具体的な取組実績

・ スクールカウンセラーを配置することにより、相談体制を整え、悩みや不安を抱えている児童・生徒及び保護者を支援しました。
・スクールソーシャルワーカーを配置することにより、関係機関と連携して児童・生徒の様々な環境に働きかける支援を行いました。
・両者がそれぞれの専門性を生かし、学校課題の解決・改善を図りました。

具体的取組

学校教育支援指導員や日本語指導員を学校のニーズに応じて配置します。
支援教育コーディネーター会議及び研修会を実施します。

所管室・課	指導課

具体的な取組実績

・地域の教育力や地元の大学との連携を生かし、学生等のボランティアを学校教育支援指導員として学校園に派遣しました。
・日本語指導員を増員し、巡回型の日本語指導を行い、日常生活に支障のないよう支援しました。
・支援教育コーディネーター研修会を開催し、障がいのある子ども一人ひとりの状況に応じた適切な指導、支援につなげました。

総合評価・総括

・スクールカウンセラーの全小学校への配置により、心理面での不安の解消や、ニーズに応じた発達検査にスムーズにつなげることができました。今後も早期対応をより一層進めていきたいと考えています。
・スクールソーシャルワーカーを全校配置したことに伴い、専門機関との連携が一層進みました。子どもを取り巻く環境の改善につなげることができました。

全体の達成度

A

達成

今後検討すべきこと

日本語を母語としない外国籍児童生徒の増加に伴い、さらなる支援を進めるため、日本語指導を始めとする教育環境の充実に努めます。

部	教育部

重点目標　4	快適な教育環境の整備

今年度の達成目標	達成状況	達成度
快適な教育環境の整備に取り組みます。	令和５年度の設計業務及び設置工事については予定通り完了し、教育環境を整備することができました。	A 達成

今年度の達成目標	達成状況	達成度
柏原市小・中学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、小中一貫教育を推進し、教育効果を高める取組みの研究を進めます。	方針に基づき、人口推計算出や視察等を行い、研究が進みました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
トイレの洋式化を進め、小学校体育館への空調設置に着手します。	・小学校２校のトイレ洋式化工事、小学校・中学校各１校のトイレ洋式化工事設計業務に取り組みました。 ・中学校２校の体育館空調設備設置工事、小学校５校の体育館空調設備設置工事設計業務に取り組みました。
所管室・課：教育総務課	

具体的取組	具体的な取組実績
少子化に伴う状況を把握するため、各学校における児童生徒数の推計調査を年２回行います。９年間のカリキュラム作成や連続性のあるインクルーシブ教育システム構築等、小中一貫教育先進校の視察や情報収集に取り組みます。	・令和２年国勢調査データ及び住民基本台帳を基に令和32年までの児童・生徒数推移を計算。さらに各校区別の令和11年までの推移を算出しました。 ・先進校視察として交野市を訪問し、適正配置にむけた取組について研究しました。 ・教育委員会として課題を検討しました。
所管室・課：学務課	

総合評価・総括	全体の達成度
教育環境の整備につきましては予定通り、トイレの洋式化や体育館への空調設備設置を進めることができました。適正規模・適正配置につきましては、交野市の取組を参考にした研究を進めるとともに、住民基本台帳による今後の児童生徒数の推計に基いた検討等を行いました。	A 達成

今後検討すべきこと
学校体育館への空調設備につきましては、令和７年度までに全校への設置が完了する予定であるため、今後特別教室等への設置等を検討していく必要があります。適正配置については、公共施設の再編整備とも密接にかかわるため、関係部署への働きかけを行っていきます。

部	教育部

重点目標　5	多様な学習機会と気軽に楽しめる生涯スポーツの提供

今年度の達成目標
だれもが利用しやすく親しみやすい図書館となるよう環境づくりに努めるとともに知の拠点としての機能強化を目指します。

達成状況	達成度
各種イベントの開催等による啓発や図書利用カードのオンライン申請開始等の機能強化を図ることで、図書館利用者が前年度と比較し約2,000人増加しました。	A 達成

今年度の達成目標
市民意識調査の「スポーツ振興」の満足度を高めます。

達成状況	達成度
新型コロナウイルス感染症が５類に移行したことにより、各種スポーツイベントが例年通り開催され、市民がスポーツを楽しめる機会を提供することができました。 また、市民意識調査の「生涯学習」の満足度は3.45となり、前回調査より0.07ポイント上がりました。	A 達成

具体的取組	
図書館では、子どもから高齢者、さらには障害を抱える方が、より本に親しんでいただけるよう、「おはなし会」や「としょかんマルシェ」等のイベントを開催するとともに、図書館機能をより強化するため、電子書籍のラインナップを充実させてまいります。	
所管室・課	図書館

具体的な取組実績
ボランティア団体と連携し、「おはなし会」や「としょかんマルシェ」等のイベントを開催するとともに、市民総合フェスティバルにおいて電子図書館の利用啓発や本のリサイクル市を行うことにより、読書への関心を高め、図書館利用者増加に努めました。さらに図書利用カードのオンライン申請、視覚障害者に向けた郵送による録音資料の貸し出し等を開始し、利便性の向上を図りました。

具体的取組	
市内体育施設の管理運営及び柏原シティキャンパスマラソン等の事業の充実によって、市民が身近にスポーツに親しめる環境づくりを進めます。	
所管室・課	スポーツ推進課

具体的な取組実績
各スポーツ施設の来場者数も昨年より増加し、「スポーツフェスティバルin柏原」には延べ4,534人の参加があり、「柏原シティキャンパスマラソン」についても、442人のご参加をいただきました。 このような取組から、市民がスポーツに親しめる環境づくりに努めました。

総合評価・総括
図書館においては、さまざまなイベント開催等を通じて、市民の読書意欲の向上と利用者数の増加に努めました。スポーツの推進については、各種スポーツイベントの開催により、市民がスポーツを楽しめる機会を提供することができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
文化センターの長寿命化改修工事を踏まえ、読書環境の整備に努めるとともに、市民が身近にスポーツに親しめる環境づくりを今後も進めてまいります。

部	教育部

重点目標　6	文化財の保存、整備、活用

今年度の達成目標
史跡をはじめとする文化財の適切な維持管理及び整備に努めます。

→

達成状況	達成度
定期的な点検、調査、清掃等、市内史跡の維持管理や整備を行いました。 また、府指定史跡清浄泉斜面保護対策工事を完了し、資料館においても空調と照明設備の改修工事を行いました。	A 達成

今年度の達成目標
文化財を公開・活用し、地域の歴史や文化に親しむ機会を提供します。

→

達成状況	達成度
寺田家住宅の説明板を建物の景観に配慮しつつ、リニューアルしたほか、企画展や講演会、オンラインによる文化財の紹介を行いました。	A 達成

↓

具体的取組	
史跡や遺構の劣化防止対策を行います。また、資料館の空調や照明設備を改修し、来館者や文化財資料の環境の維持管理を行います。	
所管室・課	文化財課

→

具体的な取組実績
歴史資料館の空調や照明設備の改修工事を行いました。 また、史跡鳥坂寺跡の草刈りを行い、遺構の整備を行いました。

具体的取組	
歴史資料館において、定期的な企画展や講演会等を開催します。また文化財説明板の設置、改修を順次行います。	
所管室・課	文化財課

→

具体的な取組実績
企画展を年に４回開催し、企画展に合わせた講演会を行いました。また、古くなった説明板１基の改修を行いました。

↑

総合評価・総括	全体の達成度
２か年にわたる府指定史跡清浄泉斜面保護対策工事が完了し、史跡周辺の環境が整いましたが、市内には、まだ整備が必要な史跡があり、計画的に整備を進める必要があります。歴史資料館の空調設備及び照明設備の改修につきましては、資料館の利用ができるだけ滞らないよう配慮し、工事を行いました。また、文化財の活用については、新たな企画も進め、世代を問わず、多くの方に来館していただきました。	A 達成

今後検討すべきこと
文化財の活用や整備について、柏原市の文化財や、歴史資料館により一層興味を持っていただけるような新たな手法を検討、導入します。